

AlphaJet



クイックリファレンス

(株)ユカアンドアルファ

2018/8/23 改訂

目次

【出力操作手順】 p.9～p.14

(1)出力準備	1
1)パーツ名称(主なパーツ)	1
2)AlphaJet 使用準備	2
(2)プロッター出力	9
1)ファイル選択~出力	9
2)連続出力	11
3)出力開始位置の変更	12
4)部数変更	13
5)マーカの回転	13
(3)アイコンについて	15
1)プロッター操作	15
2)ファイル操作	15
3)画面操作	17
4)その他	18
(4)Windows10, 8.1 でのインストールについて	19
1)Windows10 の場合	19
2)Windows8.1 の場合	20
3)Windows10, 8.1 共通	21
(5)インストール	23
(6)プロッターセットアップ	26
1)言語の設定	26
2)接続インターフェースの設定<USB接続>	27
3)プロッター種類の設定	28
(7)セットアップ<LAN 接続>	29
1)AlphaJet 本体 IP アドレス設定	29
2)Plotter Control Center IP アドレス設定	30
3)Plotter Control Center IP アドレス設定(別手順)	31
(8)YUKA&ALPHA Plotter Control Center 設定	33
1)Plotter Parameter 設定	33
2)AlphaJet 設定情報のバックアップ	45
3)AlphaJet 設定情報のリストア	45
(9)ドライバーの再インストール	46
(10)用紙幅の異なるロール紙使用に際して	48
1)ロール紙の付け替え	48
2)Plot ソフトの設定変更	50
3)ご使用ロール紙を付け替える際の利用手順	53

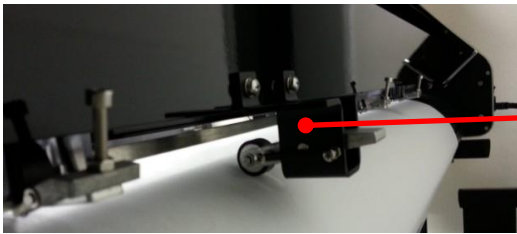
(1) 出力準備

1) パーツ名称 (主なパーツ)

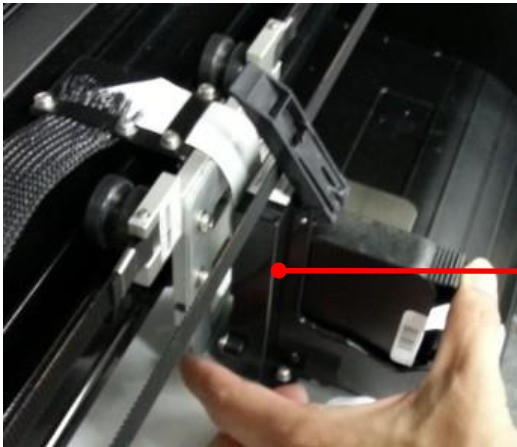


PAPER HOLDER(フランジ)

FEED ROLL(ロール紙シャフト)



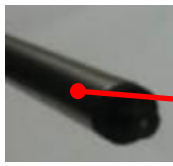
PAPERTOUCHING DEVICE
(エンコーダーローラー)



INKCARTRIDGE DEVICE
(カートリッジデバイス)



PRESSURE DEVICE
(加圧ローラー)



TENSIONROLL
 (スチール製テンションバー)
 ※後方テンション用



TENSIONROLL
 (アルミ製テンションバー)
 ※前方テンション用



インクカートリッジ
 (hp45)
 型番:51645AA#003

2) AlphaJet 使用準備

- 1) 「FEED ROLL」にロール紙をセットします。
 FEED ROLL 左側にある PAPER HOLDER を付属の六角レンチで取り外し、ロール紙を FEED ROLL にセットして下さい。



※FEED ROLL 右側にセットした PAPER HOLDER 固定位置は動かさないで下さい。
 インクの描きだし位置を元に、ビニールテープで位置決めをしています。



ロール紙のセットする方向は下図の向きとなります。



2)ロール紙をセットした FEED ROLL を下図のように置きます(載せるだけです)。

※この時点では FEED ROLL をモーター(四角い突起)にセット(ロック)しないで下さい。



3)用紙を下図のように送ります(銀色の梁の手前を通過させます)



ロール紙は、銀色梁の手前を通過

4)ロール紙を AlphaJet 後ろ側から加圧ローラー下に送ります。

※このとき、FEED ROLL はまだモーター(四角い突起)にセット(ロック)していません。



5)4)で手前に引き出したロール紙を押さえたまま、FEED ROLL をモーターへセット(ロック)します。



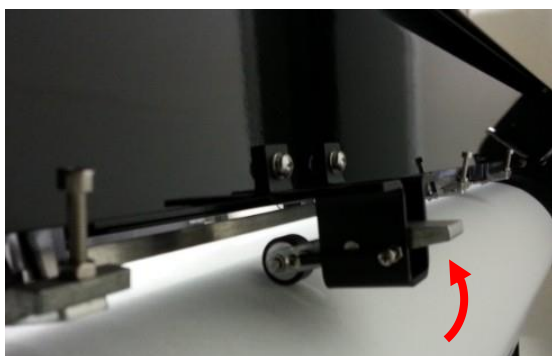
6)AlphaJet 正面中央に立ち、ロール紙を左右に振りながら均等にテンションをかけます。



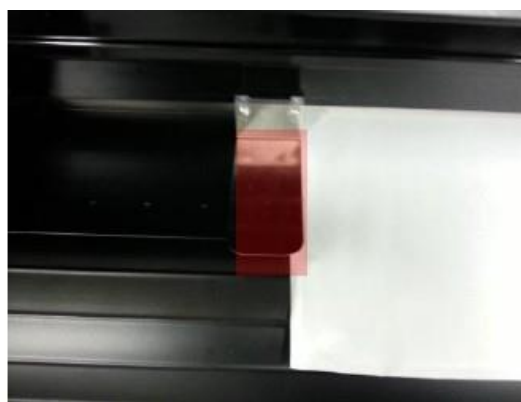
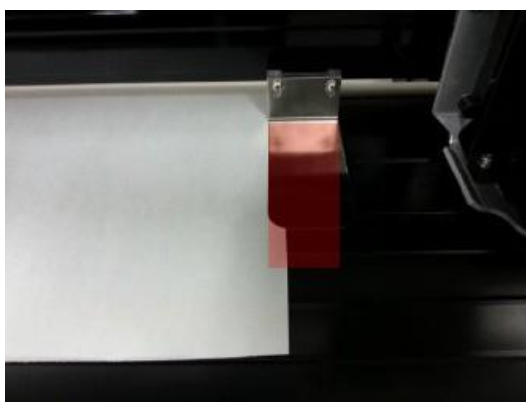
7)ロール紙にテンションをかけたまま、用紙押さえレバーを手前に起こして加圧ローラーを下げます。



8)レバーを上げ、PAPER TOUCHING DEVICE(エンコーダーローラー)を下げます。



9)用紙両端 5mm ほどの位置に浮き防止プレートを載せます。



10) インクを「CARTRIDGE DEVICE」へセットします。

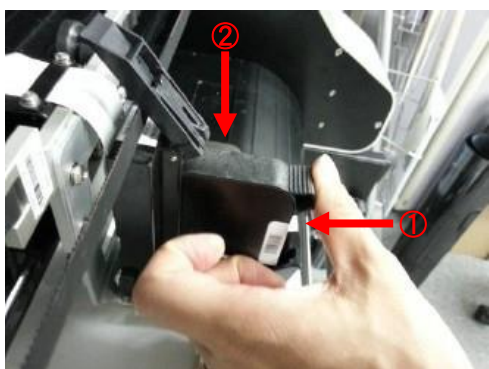
10-1. 「CAETRIDGE DEVICE」を手で押さえながら、インクを斜めに入れます。

※インクの抜き差しは、必ず AlphaJet 電源を OFF にして行って下さい。



10-2. ①の方向に押し、インクの背中をつけるように真っ直ぐにしたのち、②の方向からもきちんとインクを押し込み、「CARTRIDGE DEVICE」カバーを閉じます。

※インクがきちんとセットされていないと、作図が破線になる原因となります。



11) TENSION ROLL(スチール製)をセットします。

11-1. AlphaJet 電源を入れたのち、一旦電源を切ります。(電源を入れるのは1秒ほど)

※「FEED ROLL」を回転させ、ロール紙を一定量排出します。

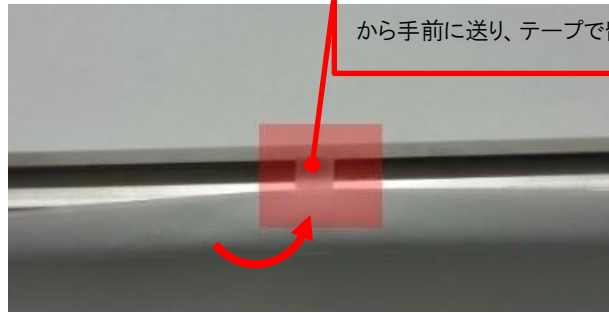
11-2. 後方のガイドレールへ「TENSION ROLL(スチール製)」をおきます。



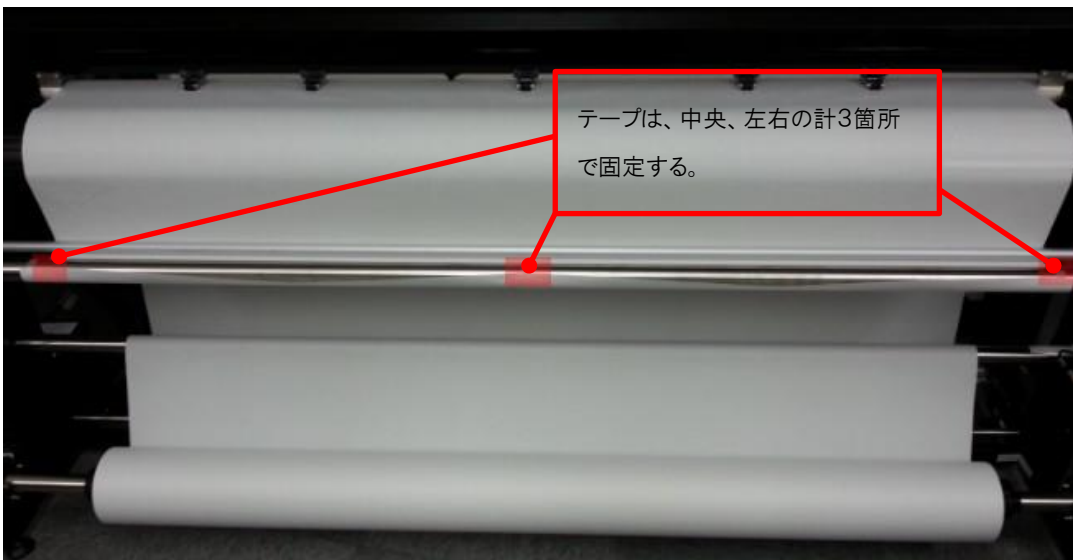
11-3. AlphaJet の電源を入れ、準備完了です。



※必要に応じて、ロール紙の巻き取りをご使用ください。

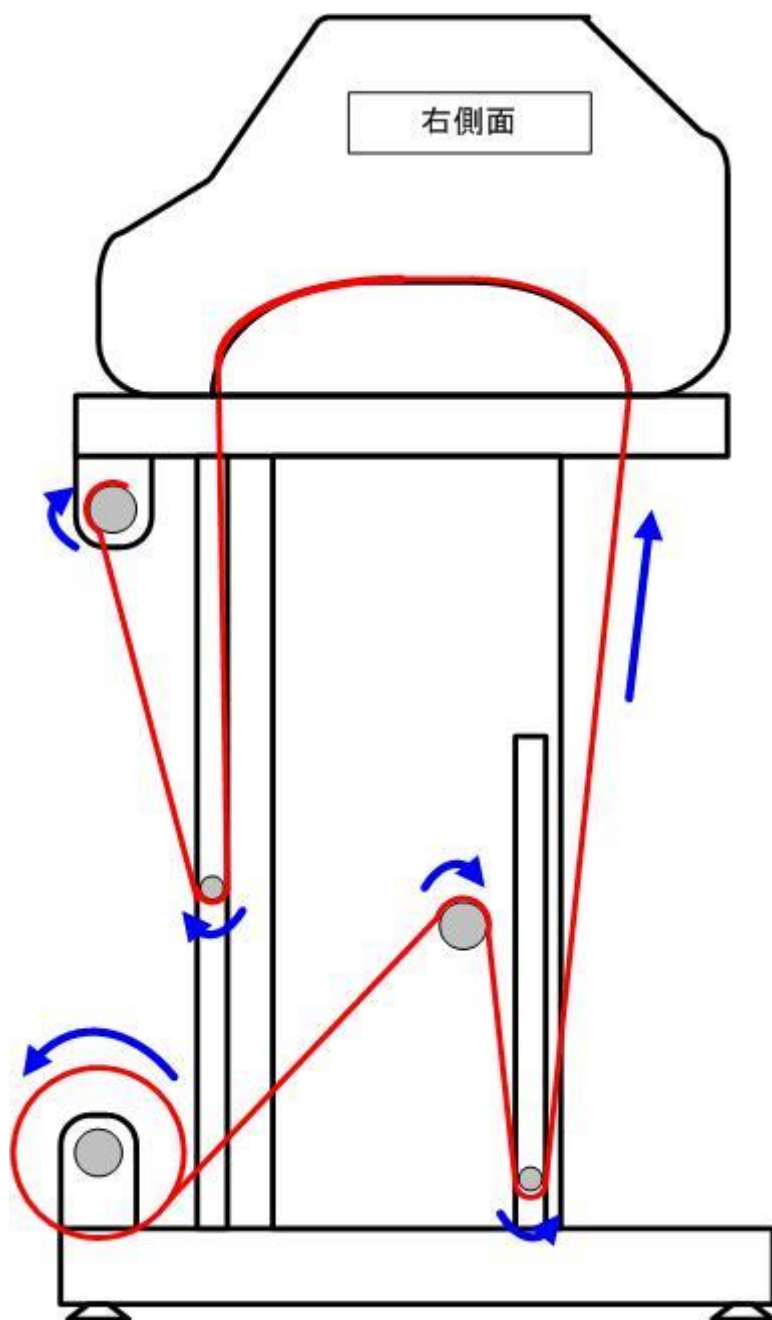


ロール紙は、巻き取りシャフトの下から手前に送り、テープで留める。



テープは、中央、左右の計3箇所で固定する。

ロール紙セットの流れ



(2) プロッター出力

1) ファイル選択~出力

1) 「SuperALPHA:Plus」にてプロットファイル(オフラインファイル)を作成します。

SuperALPHA:Plus AlphaJet 出力条件

- 機種名:HP700 モード:1
- 用紙設定:ロール
 - 横:158 ※用紙幅より-2cm 程度
 - 縦:500 ※マーキング用尺以上の長さ(cm)
- 標題:最後

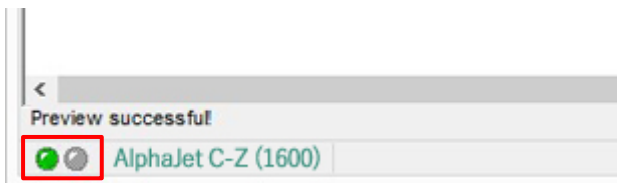
2)「Plot」を起動します。



3)AlphaJet の認識状態を確認します。

画面左下の点灯色が「緑」であれば、AlphaJet を正常認識しています。

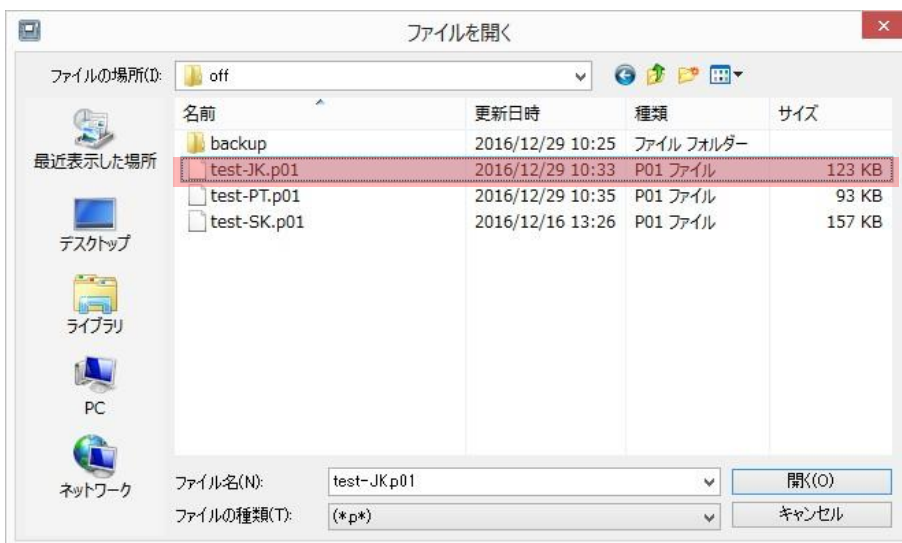
「赤」の場合、AlphaJet を認識していないので、ケーブル接続状況の確認もしくはネットワーク状況の確認をして下さい。



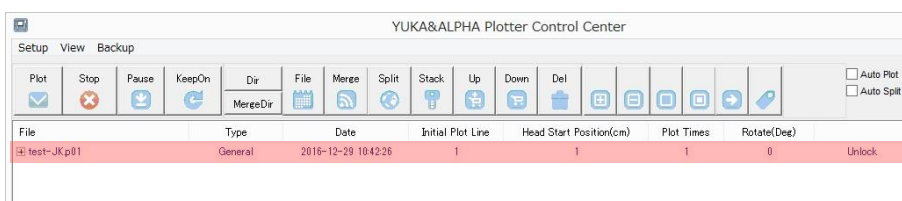
4)メニューアイコンの「File」をクリックします。



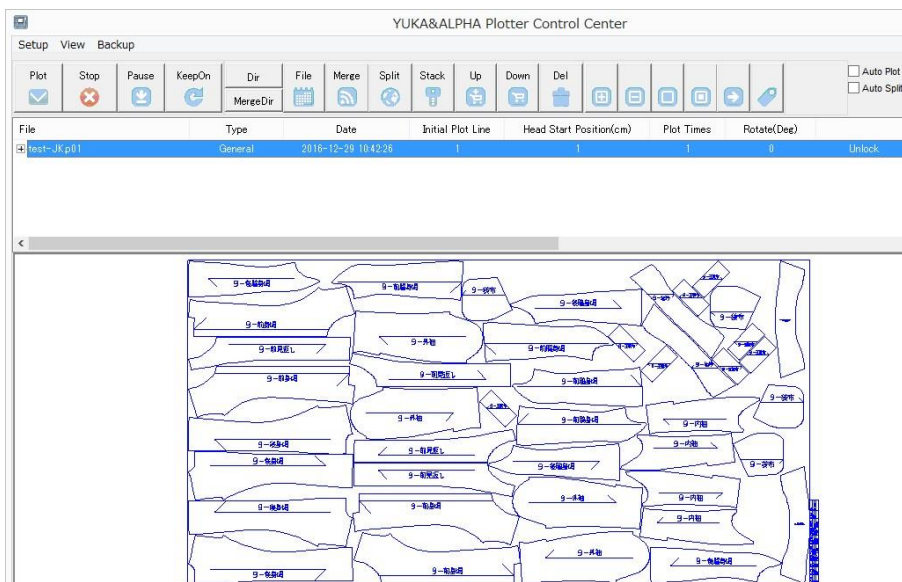
5) 出力したいマーキングファイルを選択し「開く」をクリックします。(複数ファイル選択も可能です)



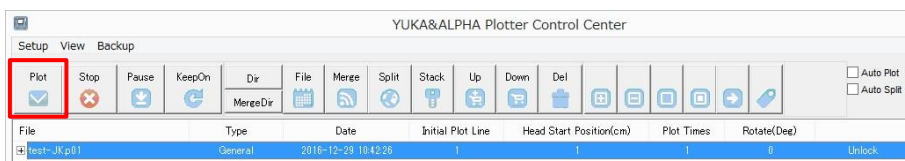
6)開いたプロットファイルがリスト表示されます。



リストにあるプロットファイルを選択すると、プレビュー表示されます。



7)出力するプロットファイルを選択し、「Plot」をクリックすると、出力が開始されます。



基本的な操作ボタンは以下となります。

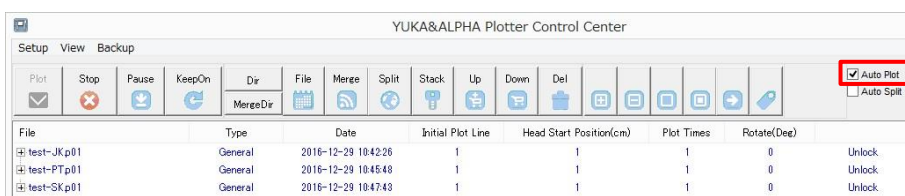


「Plot」・・・出力開始 「Stop」・・・出力中止 「Pause」・・・一時停止 「KeepOn」・・・出力再開

2) 連続出力

複数のマーキングファイルを連続して出力することができます。

- 1)上述の「ファイル選択～出力」の手順で複数ファイルをリスト表示します。
- 2)メニューアイコン右側にある“Auto Plot”にチェックを入れると、リストで選択したファイル以降のファイルを連続して出力します。



※出力中に“Auto Plot”チェックを外すと、出力中のマーキングファイルを描き終えて止まります。

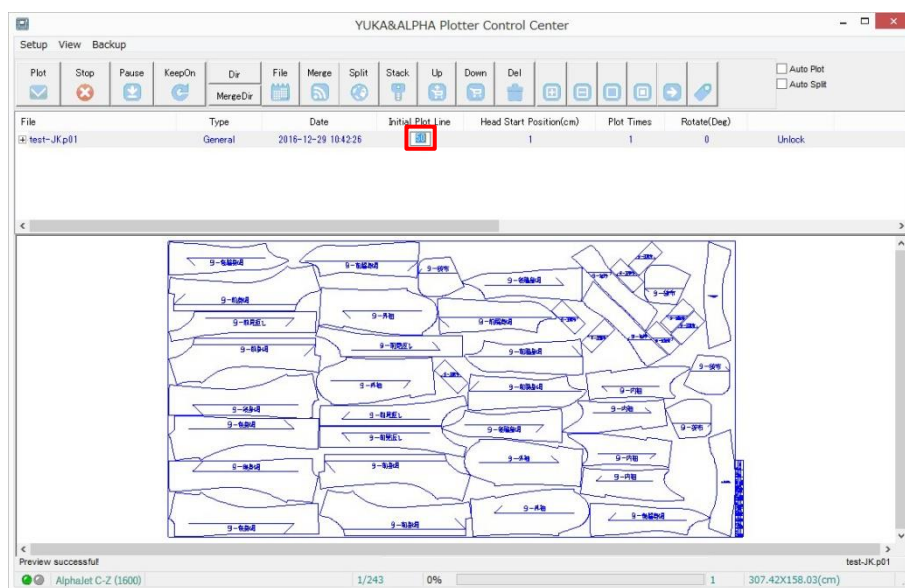
3) 出力開始位置の変更

マーキングファイルの途中から出力を開始することができます。

1) リスト表示されているマーキングファイルの“Initial Plot Line”箇所をクリックします。

2) 出力を開始したい行を入力します。

それ以降の操作は、上述の「ファイル選択～出力」と同様です。



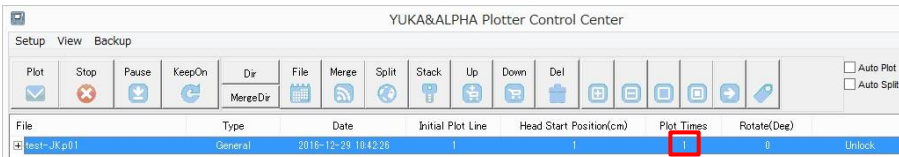
※画面下に表示されている「○/○」は、出力に要するインクカートリッジの往来回数を表しています。

※出力開始行とは、「○/○」のインクカートリッジ往來の分子にあたる数字を指します。

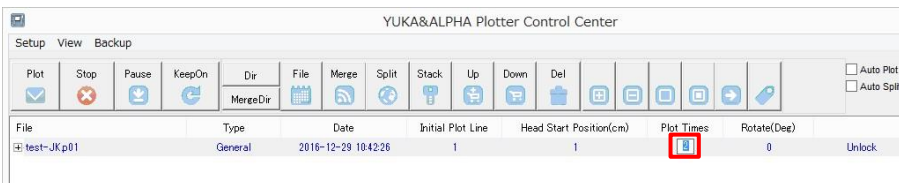
4) 部数変更

1つのマーキングファイルを複数部数出力することができます。

1)リスト表示されているマーキングファイルの“Plot times”箇所をクリックします。



2)カーソル表示がされたら出力したい部数を入力します。

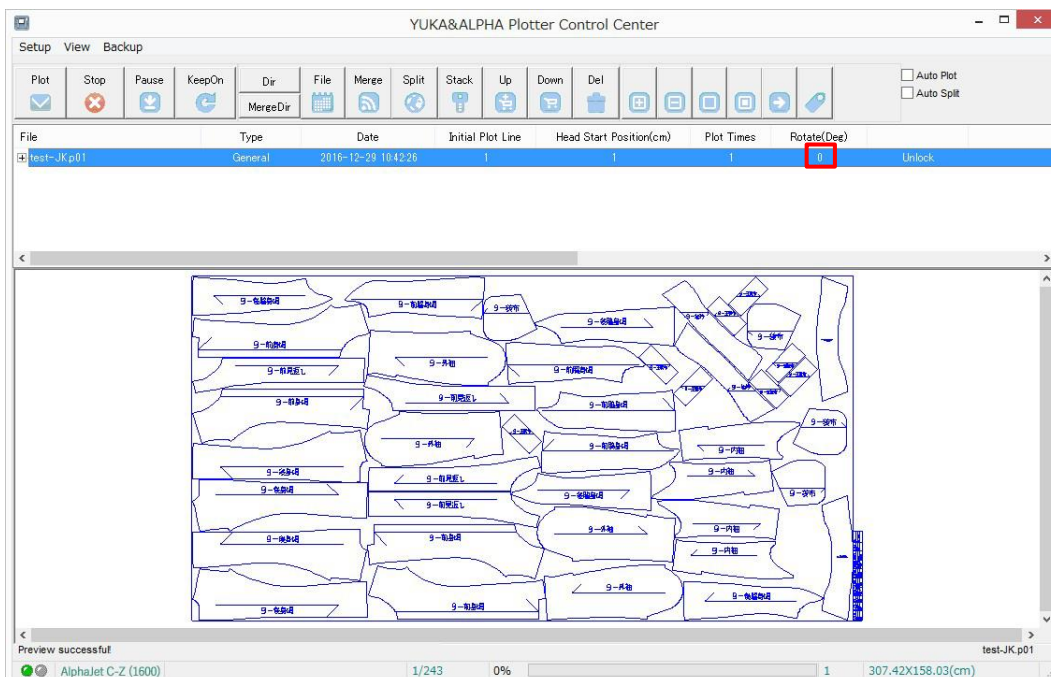


それ以降の操作は、上述の「ファイル選択～出力」と同様です。

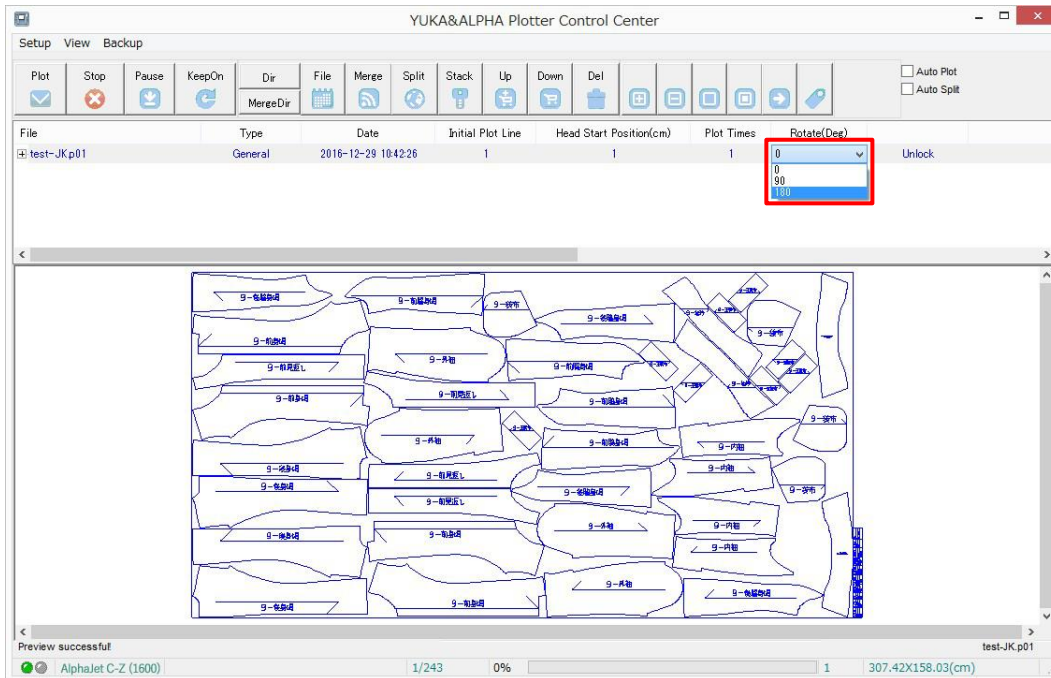
5) マーカーの回転

マーカーファイルを回転させることができます。

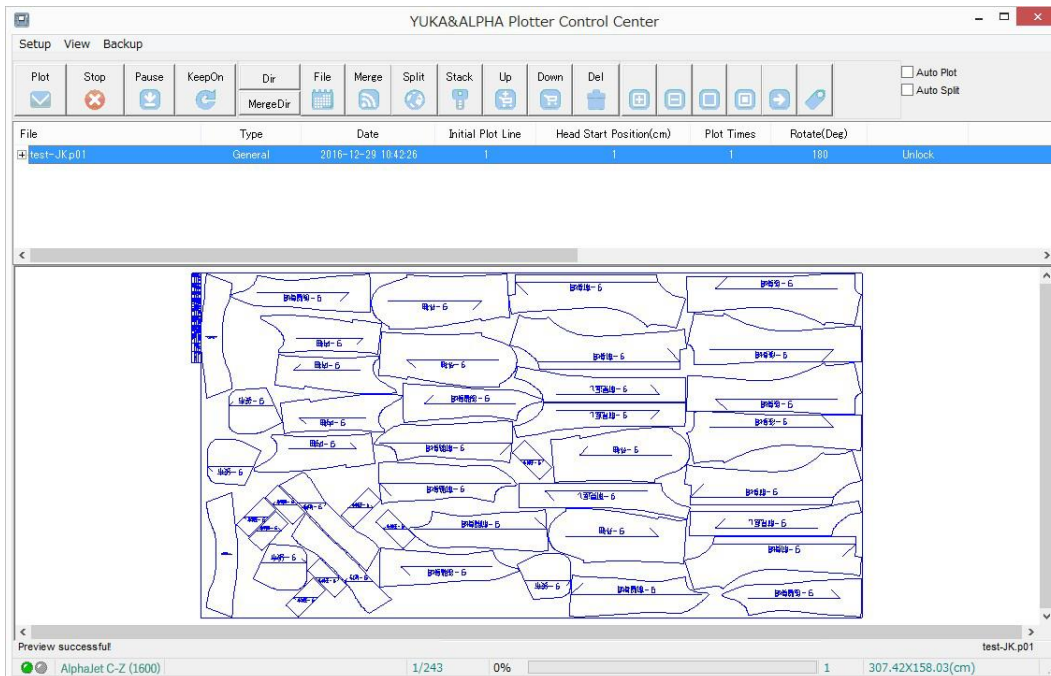
1)リスト表示されている、回転させたいマーカーファイルの“Rotate(Deg)”をクリックします。



2)プルダウンリストにて「180」をクリックします。



3)マーカーファイルが 180 度回転されます。



それ以降の操作は、上述の「ファイル選択～出力」と同様です。

(3) アイコンについて

マーキングオフラインファイルを AlphaJet へ出力する為のソフトウェアである「YUKA&ALPHA Plotter Control Center」の各アイコンについて分類別に記載します。



1) プロッター操作

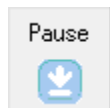
主に AlphaJet 本体の出力開始や停止などを制御するアイコンです。



Plot 選択しているファイルのみ AlphaJet にて出力開始します。



Stop 出力中の AlphaJet を途中で終了します。



Pause 出力中のファイルを AlphaJet にて一時停止します。

※本体の[Pause]押下と類似の動作です



KeepOn 一時停止中の AlphaJet の出力を再開します。

※本体の[Pause]押下で一時停止中に、再度[Pause]押下と類似の動作です

2) ファイル操作

主にオフラインマーカファイルの各種読み込みや並び替えなどを行うアイコンです。



Dir 特定のフォルダを指定しておくことで、そのフォルダにマーカファイルが保存されると自動的に読み込みます。

※読み込まれた時点でフォルダ内の”Backup”フォルダにファイルが移動されます。

MergeDir

上記[Dir]と同じディレクトリ自動読み込み動作ですが、読み込み後の配置については後述する[Merge]の配置をします。

File

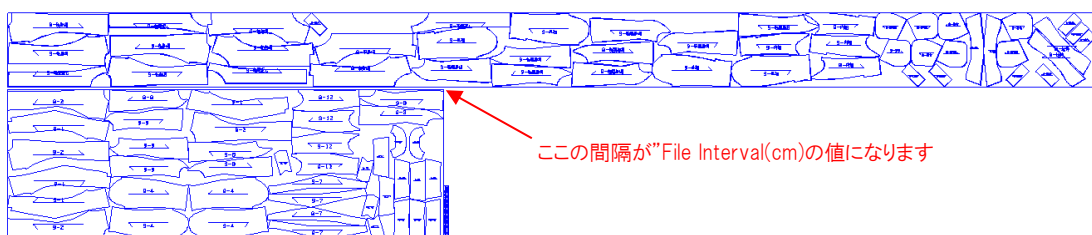
AlphaJet で出力するマーカーファイルを選択して、読み込みます。

Merge

P.28 の 4-11. "File Width(cm)" で設定されている数値以内であれば、複数のマーカーファイルを選択することで、横並びに配置することができます。

※マーカーファイル同士の間隔は P.28 の 4-11. "File Interval(cm)" となります

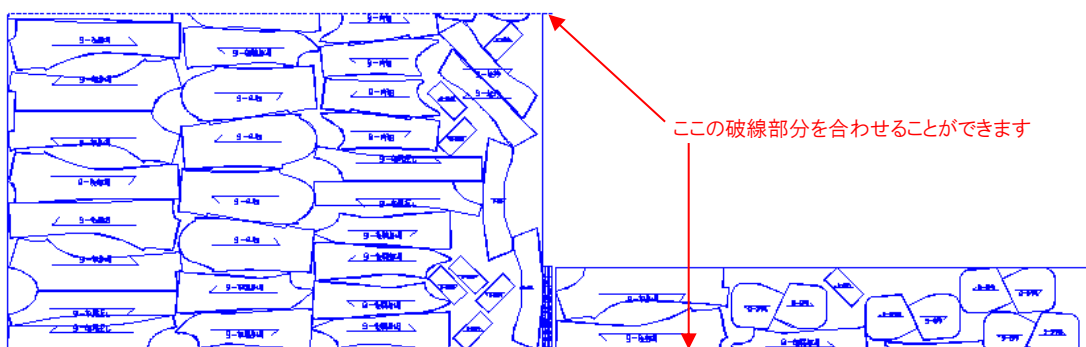
例) 設定が File Width(cm)=178cm、File Interval(cm)=1cm としている場合で、58cm 巾と 119cm 巾のマーカーファイルを[Merge]で読み込んだ場合下記の通りになります。

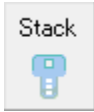


Split

P.28 の 4-11. "File Width(cm)" で設定されている数値以上のマーカーファイルを選択した場合に、切り貼りすることを前提に縦並びに配置することができます。

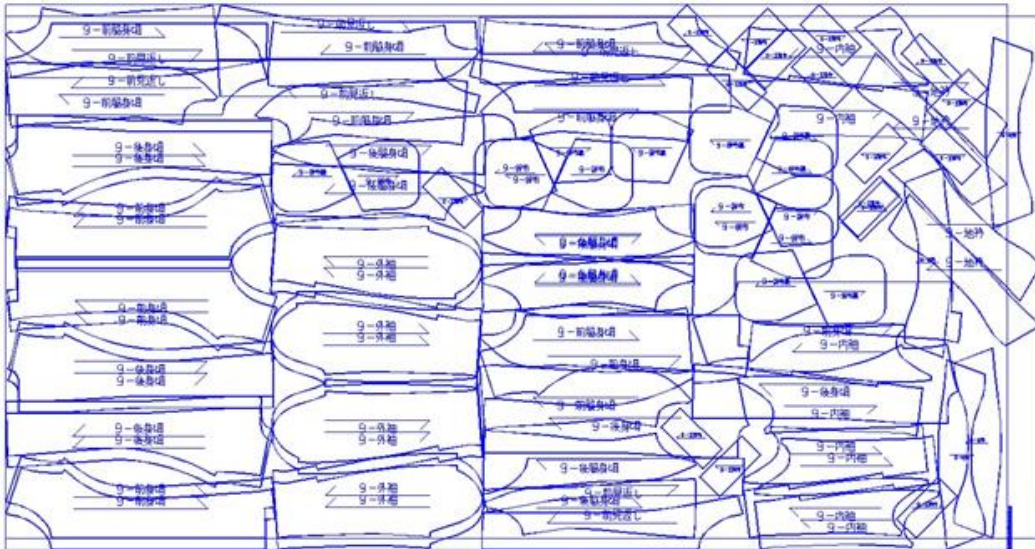
例) 下図のように読み込まれます





複数のマーカーファイルを選択することで、重ねて配置することができます。

例) 下図のように読み込まれます



マーカーファイルが複数読み込まれている場合に、選択しているファイルを上や下に移動させることで、AutoPlot 時の出力順を変更できます。



選択しているマーカーファイルを Plotter Control Center から削除します。

※オフラインマーカーファイル自体は削除しません

3) 画面操作

主にプレビュー画面の表示操作を行うアイコンです。



プレビュー画面を拡大表示します。



プレビュー画面を縮小表示します。



プレビュー画面を全体表示します。



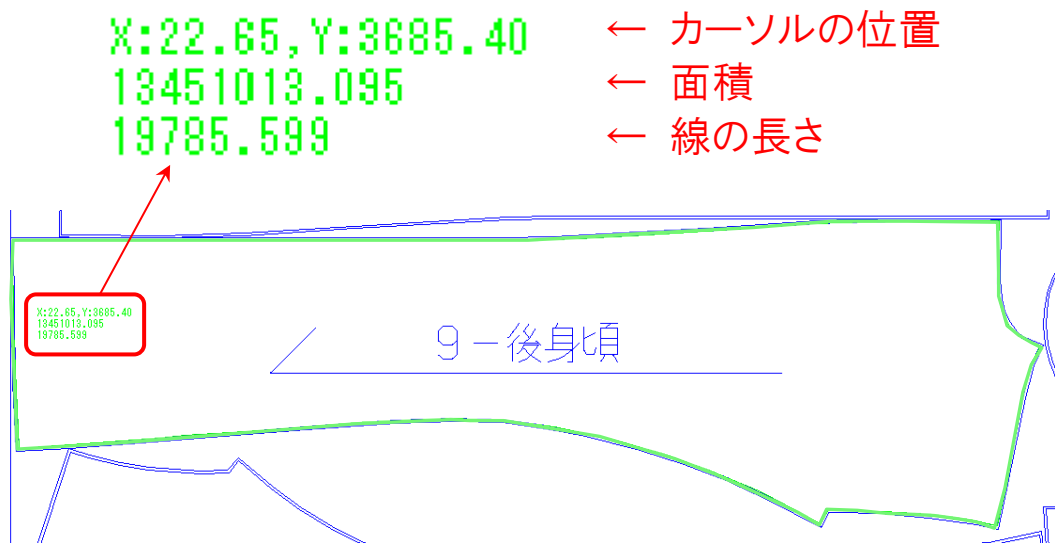
プレビュー画面の範囲選択した部分を拡大表示します。



プレビュー画面をドラッグアンドドロップで動かすことができます。



プレビュー画面で複数点クリックしていくことで、緑線における線の長さや、面積を表示できます。



4) その他

その他の動作に関する操作になります。

- Auto Plot ✓してあると読み込まれているファイルを自動的に連続出力します。
※ファイルを読み込んである状態から✓しても、その全てを連続出力します。
- Auto Split ✓してあるとP.17のSplitと同様に、切り貼りすることを前提にした縦並びの配置をすることができます。
※P17 [Split] と同様の配置をします。

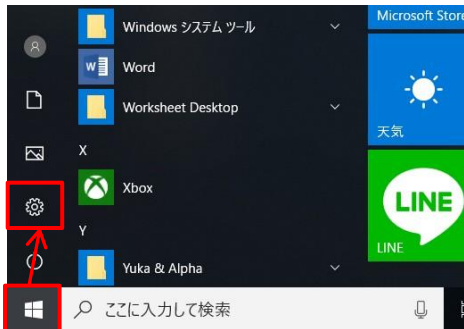
(4) Windows10, 8.1 でのインストールについて

Windows8 以降、「デジタル署名」されていないデバイスドライバーのインストールが、通常ではできないようになっているため、最初に以下の手順でインストール作業を実施して下さい。

1) Windows10 の場合

1)「スタートメニュー」-「設定」をクリック。

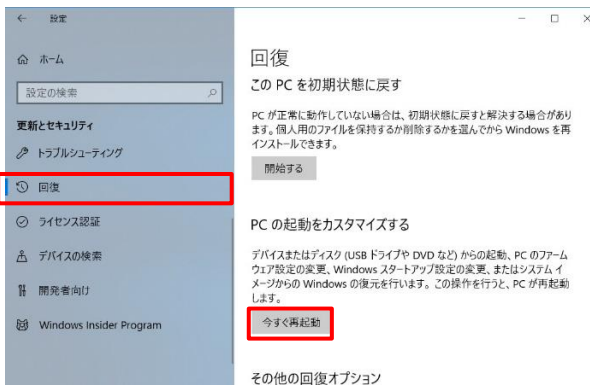
※Windows10 のバージョンによって設定アイコンの場所が違います



2)「更新とセキュリティ」をクリック。



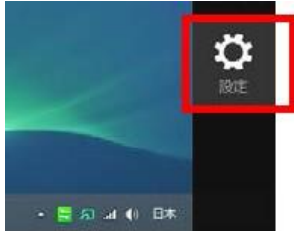
3)「回復」-「PC の起動をカスタマイズする」の『今すぐ再起動する』をクリック。



4) P.21 3)Windows10, 8.1共通 に進みます。

2) Windows8.1 の場合

1)「チャーム」-「設定」をクリック。



※チャームバー表示方法

- ・[Windows キー]+[C]
- ・マウスカーソルを画面右下(上)隅へから、上(下)方向へ移動

2)「PC 設定の変更」をクリック。



3)「PC 設定」の「保守と管理」をクリック。



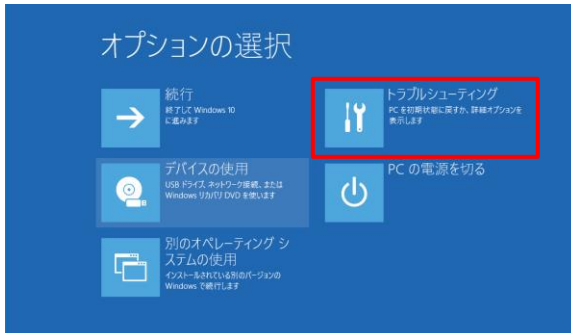
4)「回復」-「PC の起動をカスタマイズする」の『今すぐ再起動する』をクリック。



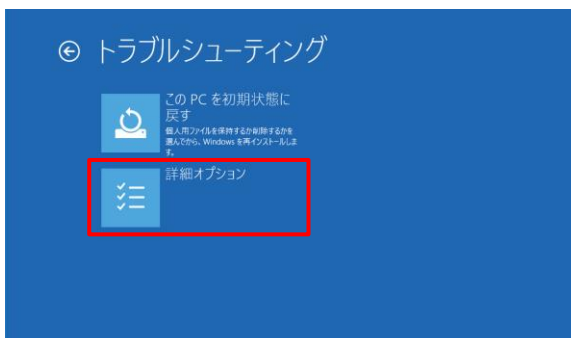
4)P.21 3)Windows10, 8.1共通 に進みます。

3) Windows10 , 8.1 共通

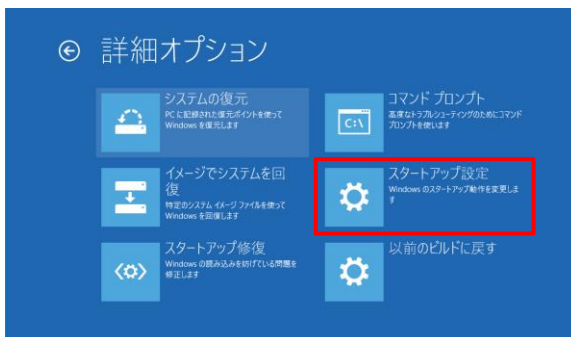
5)「オプションの選択」-「トラブルシューティング」をクリック。



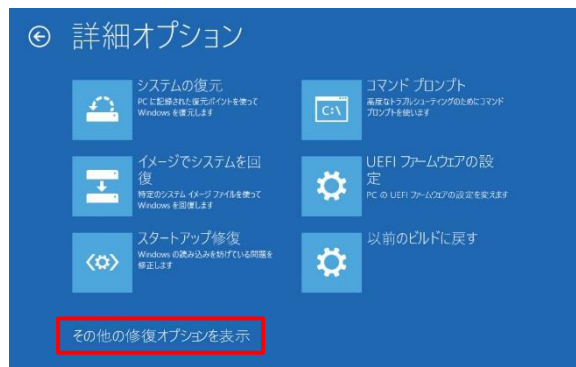
6)「トラブルシューティング」で「詳細オプション」をクリック。



7)「詳細オプション」-「スタートアップ設定」をクリック。



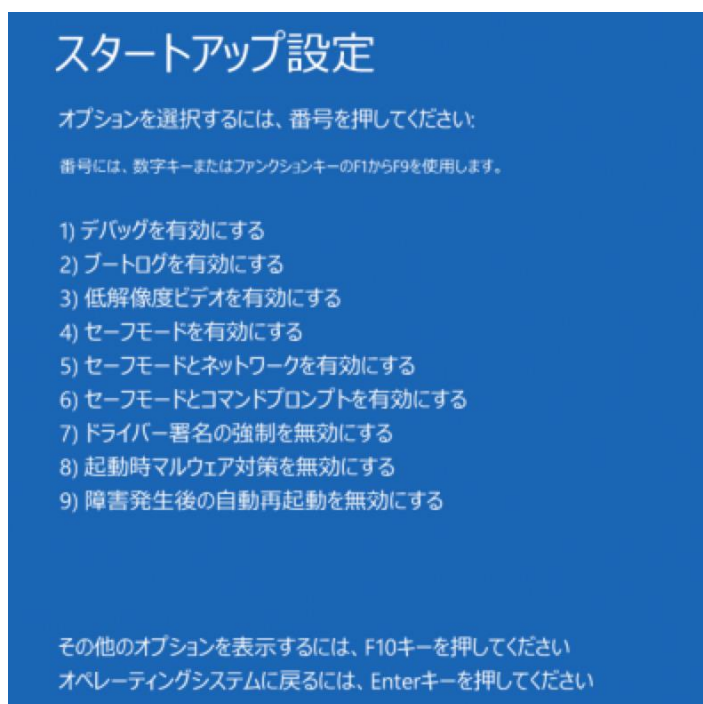
※もし「スタートアップ設定」が表示されていない場合は、下図のように「その他の修復オプションを表示」をクリックすると別画面で表示されます。



8)「スタートアップ設定」-「再起動」をクリック。



9)「スタートアップ設定」画面でキーボードの [7] もしくは [F7] キーを押す。



10)PC が再起動し、Windows が起動します。

見た目は普通ですがデジタル署名なしでもインストール可能となっています。

11)引き続き、次項以降を参照して、作業を進めてください。

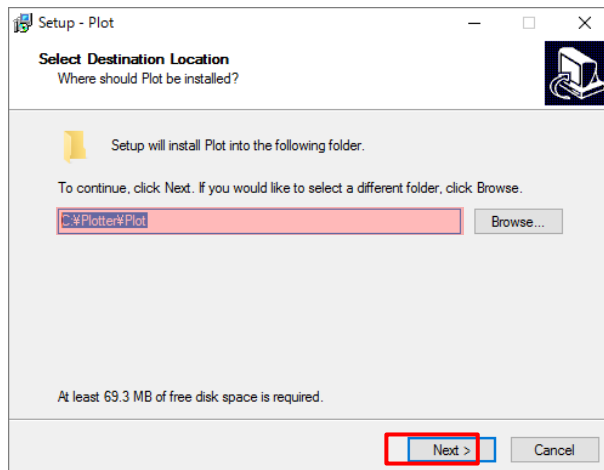
(5) インストール

※Windows8以降、「デジタル署名」されていないデバイスドライバーのインストールが、通常ではできないようになっているため、P.19 (4)Windows10, 8.1でのドライバーインストールについて を実施してから以下のインストール作業を実施して下さい。

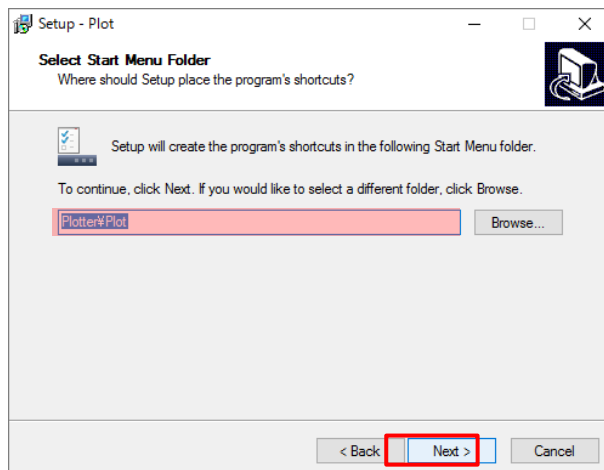
- 1) AlphaJet 付属 CD の「Setup software」フォルダ内にある「yuka&alpha_plot_setup ***_x86_x64.exe」を“管理者で実行”します。

名前	更新日時	種類	サイズ
1setup.exe	2012/03/21 15:36	アプリケーション	22,960 KB
PDF Foxit Reader.exe	2011/03/23 17:50	アプリケーション	11,386 KB
yuka&alpha_plot_setup154_x86_x64.exe	2017/05/10 10:59	アプリケーション	18,900 KB

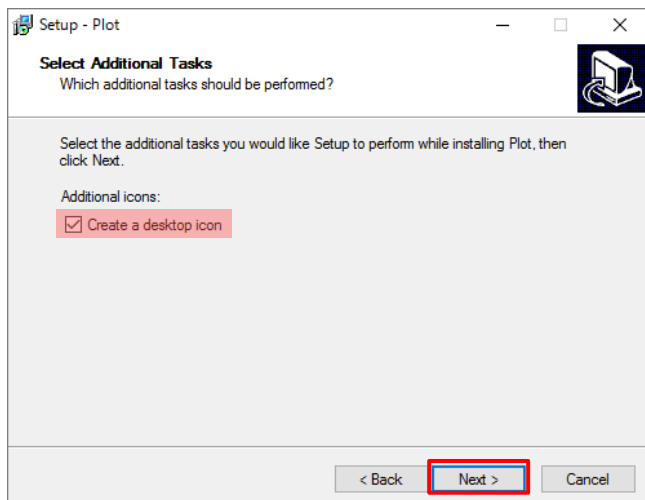
- 2) 下図にて最初は “C:¥Program Files (x86)¥Plotter¥Plot” となっているので、“C:¥Plotter¥plot” に変更して「Next」をクリックします。



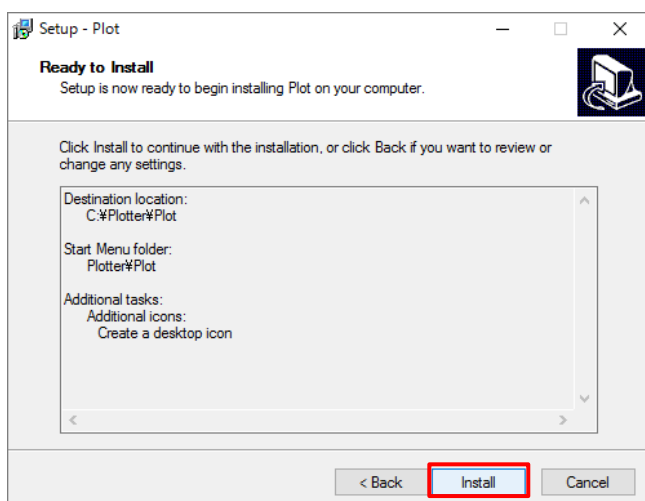
- 3) 下図にて最初は “Plotter¥Plot” となっていることを確認して「Next」をクリックします。



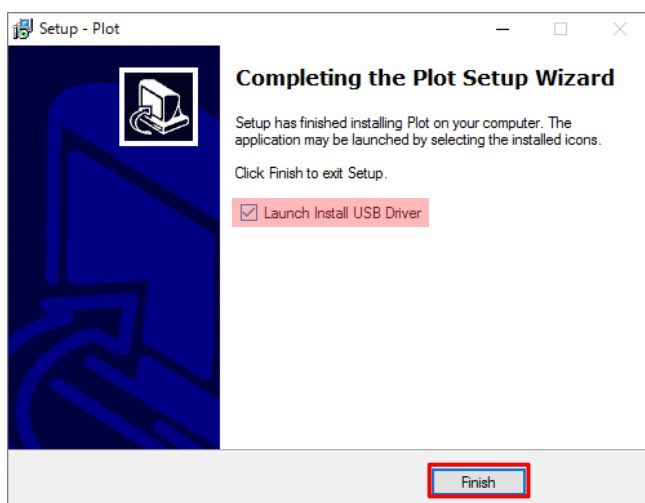
4) "Create a desktop icon"に「✓」を入れ「Next」をクリックします。



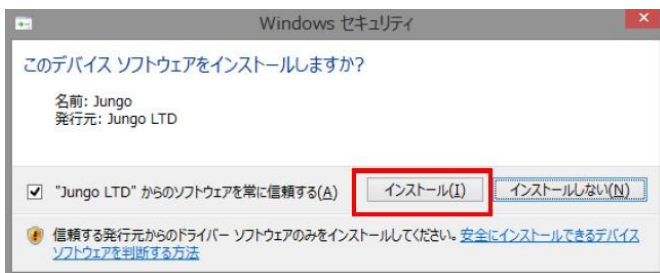
5) 「Install」をクリックします。



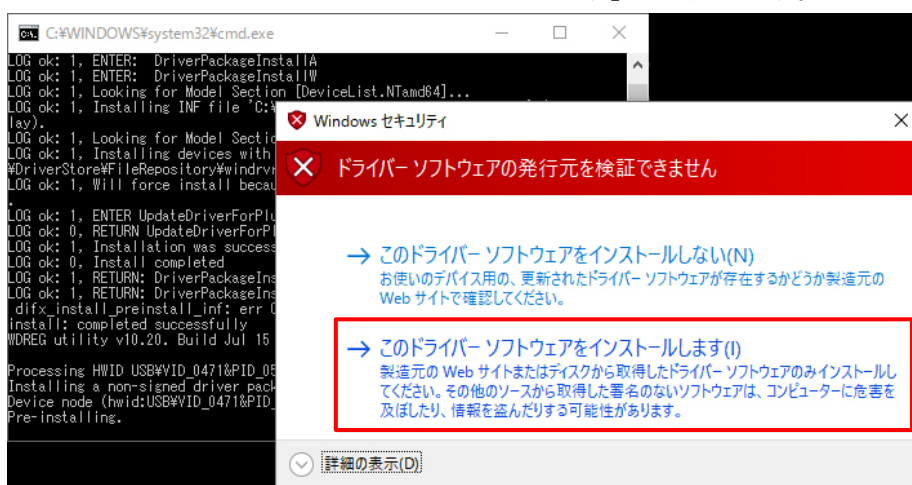
6) "Launch Install USB Driver"に「✓」を入れ「Finish」をクリックします。



7) メッセージが表示されたら「インストール」をクリック。

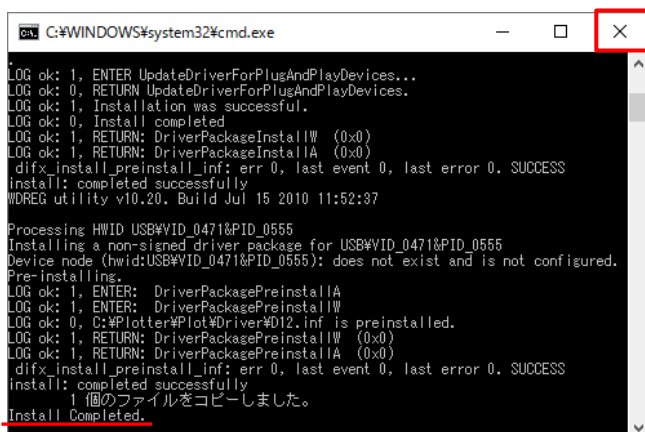


8) “ドライバー署名の強制を無効にする”^{※1}でPCが起動されている場合、
「→このドライバーソフトウェアをインストールします」をクリックします。



※1 P.19 [\(4\)Windows10, 8.1 でのドライバーインストールについて](#) を参照

9) 「Install Completed.」と表示されたらドライバインストール完了です。
そのまましばらくすると自動的にウィンドウが閉じます。



(6) プロッターセットアップ

AlphaJet 使用設定を行います。

1) 言語の設定

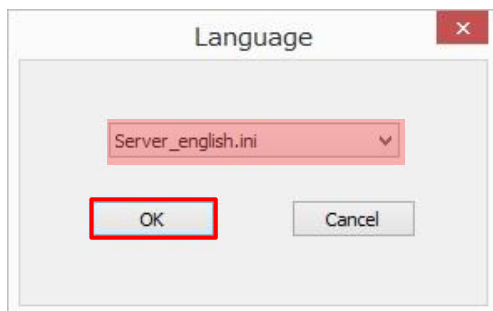
1) デスクトップにある【Plot】をダブルクリックで実行します。



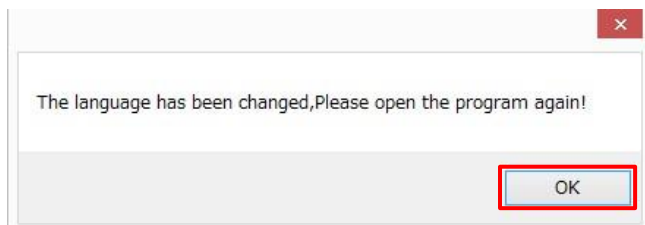
2) メニュー「Setup」-「Language」をクリックします。



3) “Server_english.ini”を選択し、「OK」をクリックします。



4) 下記ウィンドウが表示されたら「OK」をクリックします。
設定を適用する為に Plot ソフトが自動的に終了します。

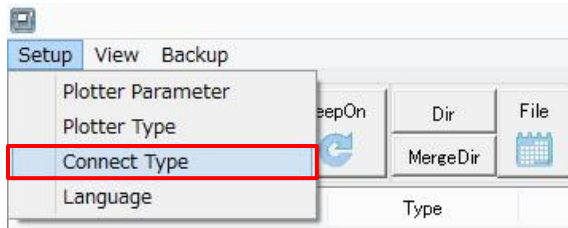


2) 接続インターフェースの設定<USB接続>

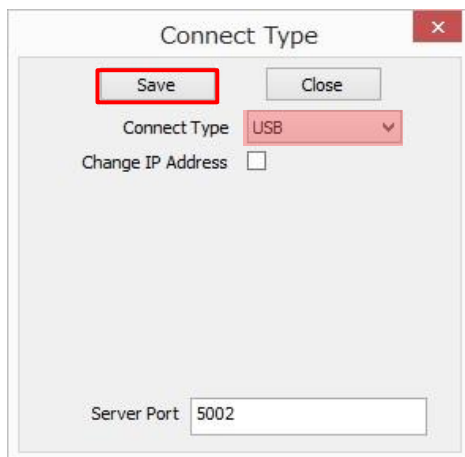
1) デスクトップにある【Plot】をダブルクリックで実行します。



2) メニュー「Setup」-「Connect Type」をクリックします。



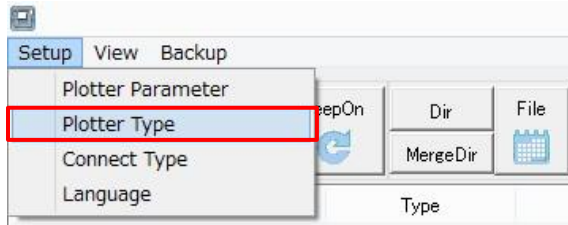
3) 「Connect Type」を「USB」を選択し、「Save」→「Close」の順でクリックします。



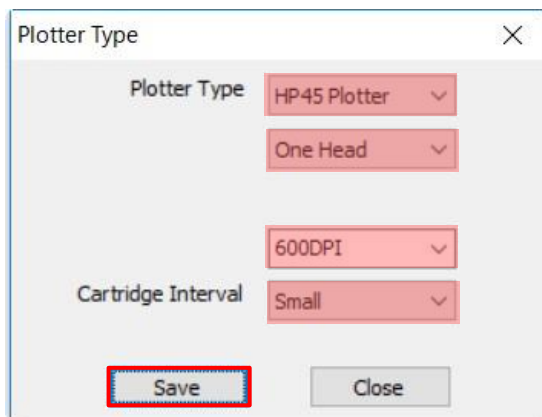
※LAN 接続設定については、P.29 の [\(7\)セットアップ<LAN接続>](#) を参照ください。

3) プロッター種類の設定

1) メニュー「Setup」-「Plotter Type」をクリックします。



2) Plotter Type で上から “HP45 Plotter”、“One Head”、“600DPI”、Cartridge Interval で ”Small” をそれぞれ選択し、「Save」→「Close」の順でクリックします。



(7) セットアップ<LAN 接続>

AlphaJet の LAN 接続インターフェース使用時のセットアップを説明します。

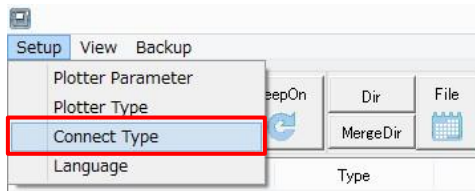
USB 接続の場合は本項の設定は不要です。

1) AlphaJet 本体 IP アドレス設定

1) AlphaJet と PC を付属の USB ケーブルで接続し、AlphaJet 電源を入れます。

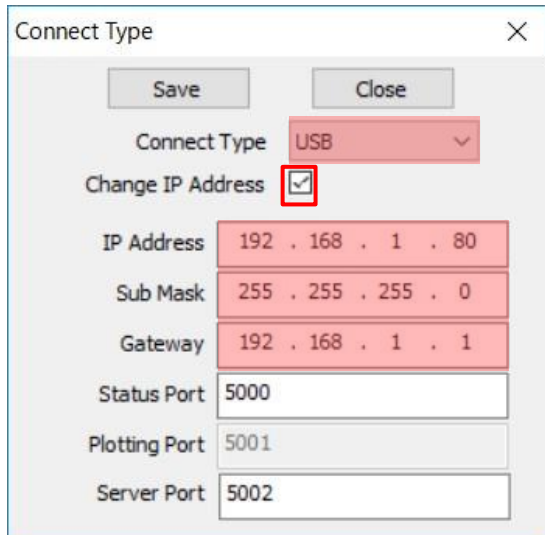
※PC が既にネットワーク環境にある場合、現在の IP アドレスを控えて、AlphaJet に割当てる IP アドレスを決めてください。(システムやネットワーク管理をされているご担当者がいらっしゃる場合は事前に割り当て IP を確認して下さい。)

2) Plot の「Setup」-「Connect Type」をクリックします。

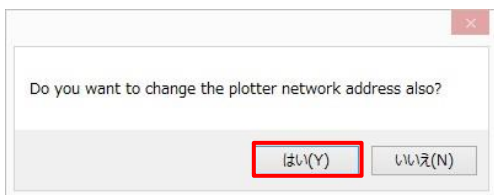


2) 下図のように「Connect Type」を「USB」にして、「Change IP Address」にチェックを入れます。

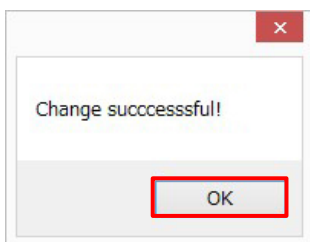
割当てる任意の IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを入力し「Save」をクリックします。

A screenshot of the 'Connect Type' dialog box. The 'Connect Type' dropdown menu is set to 'USB'. The 'Change IP Address' checkbox is checked and highlighted with a red box. Below this, there are input fields for IP Address (192 . 168 . 1 . 80), Sub Mask (255 . 255 . 255 . 0), Gateway (192 . 168 . 1 . 1), Status Port (5000), Plotting Port (5001), and Server Port (5002). 'Save' and 'Close' buttons are at the top.

4)「はい」をクリックします。



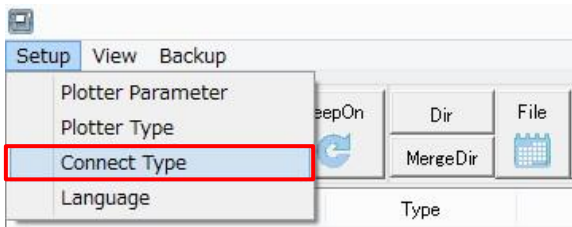
5)「OK」をクリックし、AlphaJet への IP アドレス設定が完了です。



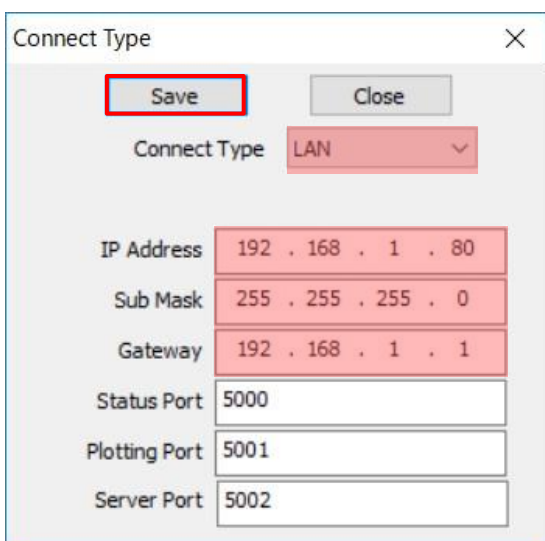
2) Plotter Control Center IP アドレス設定

6)AlphaJet を USB ケーブルから LAN ケーブルに差し替えてください。

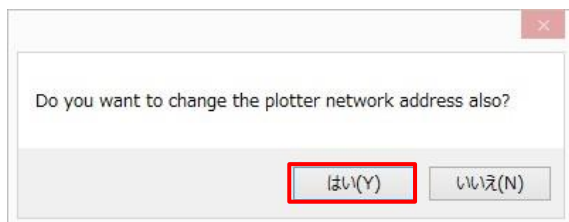
7)Plot ソフトを再起動し、「Setup」-「Connect Type」をクリックします。



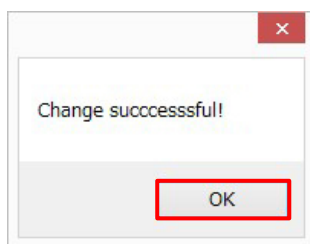
8)“Connect Type”を“LAN”に変更し「Save」をクリックします。



9)「はい」をクリックします。



10) “Change successful!”と表示されれば変更完了ですので、「OK」をクリックします。



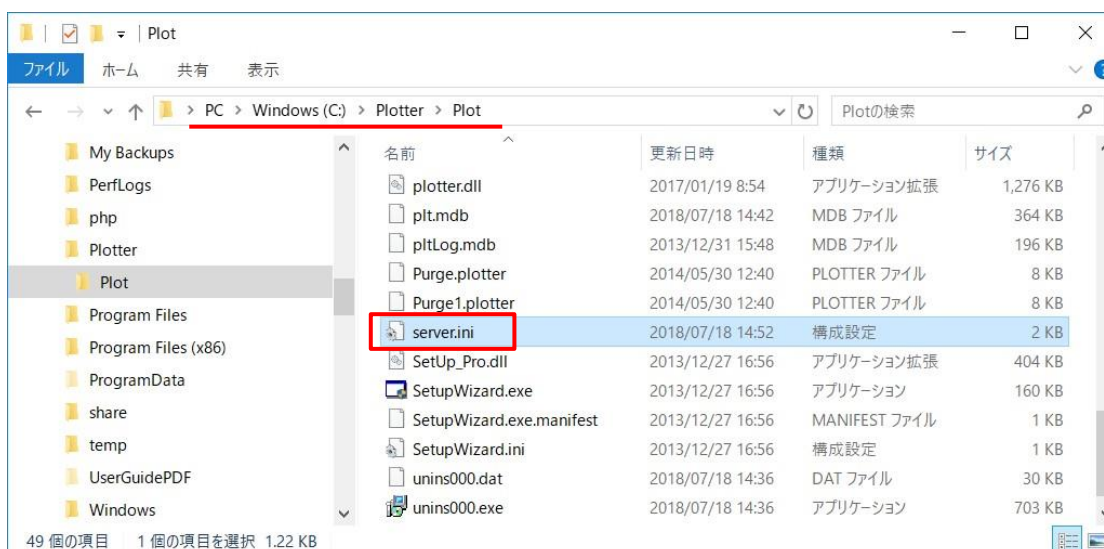
3) Plotter Control Center IP アドレス設定(別手順)

上記 7)から 10)までの設定を行っても IP アドレスが変更しない場合があります。

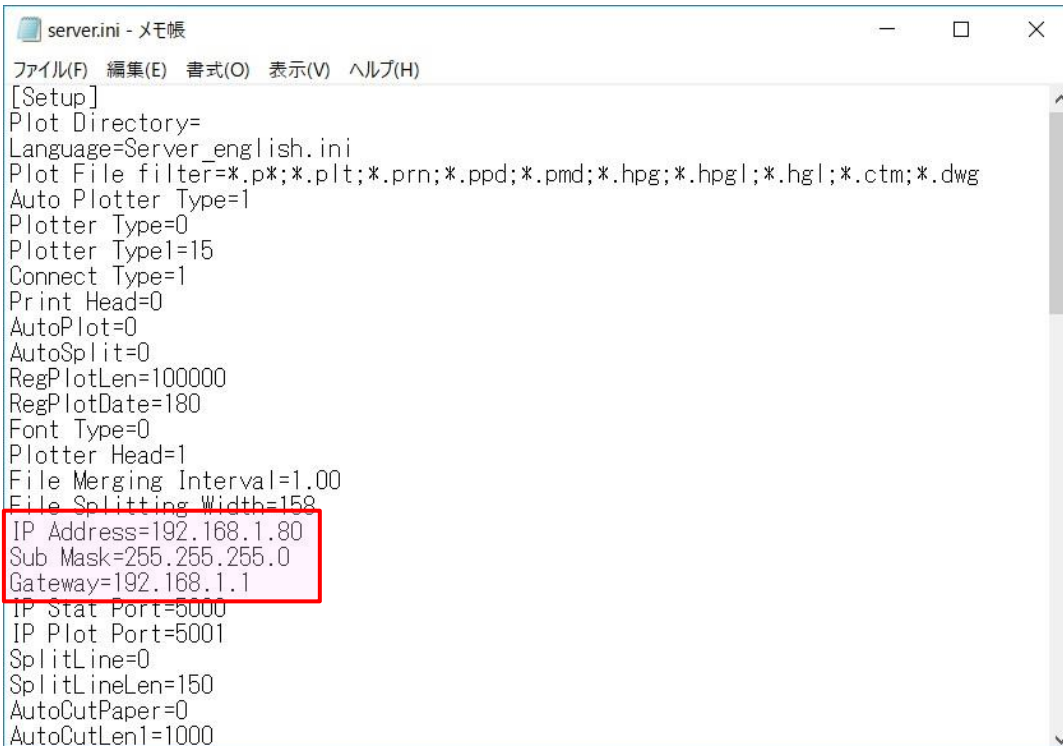
その場合には下記手順を実施して Plotter Control Center の IP アドレスを変更してください。

A) Plotter Control Center を終了しておきます。

B) C:\¥Plotter¥Plot の「server.ini」をメモ帳などで開く。

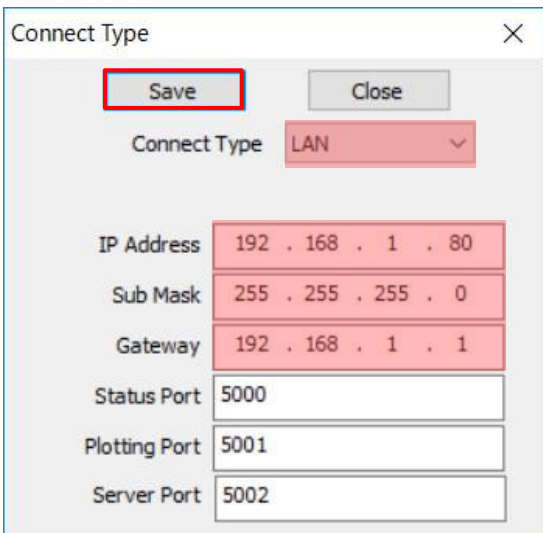


- C) C:\¥Plotter¥Plot の「server.ini」をメモ帳などで開き、
「IP Address」、「Sub Mask」、「Gateway」を変更して上書き保存します。



```
server.ini - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
[Setup]
Plot Directory=
Language=Server_english.ini
Plot File filter=*.p*;*.plt;*.prn;*.ppd;*.pmd;*.hpg;*.hpgl;*.hgl;*.ctm;*.dwg
Auto Plotter Type=1
Plotter Type=0
Plotter Type1=15
Connect Type=1
Print Head=0
AutoPlot=0
AutoSplit=0
RegPlotLen=100000
RegPlotDate=180
Font Type=0
Plotter Head=1
File Merging Interval=1.00
File Splitting Width=158
IP Address=192.168.1.80
Sub Mask=255.255.255.0
Gateway=192.168.1.1
IP Stat Port=5000
IP Plot Port=5001
SplitLine=0
SplitLineLen=150
AutoCutPaper=0
AutoCutLen1=1000
```

- D) Plotter Control Center を起動して「Setup」-「Connect Type」の IP アドレス等が、
正常に変更されているか確認して [Save] をクリックします。



Field	Value
Connect Type	LAN
IP Address	192 . 168 . 1 . 80
Sub Mask	255 . 255 . 255 . 0
Gateway	192 . 168 . 1 . 1
Status Port	5000
Plotting Port	5001
Server Port	5002

(8) YUKA&ALPHA Plotter Control Center 設定

AlphaJet 出カソフト(YUKA&ALPHA Plotter Control Center)設定の説明をします。

※AlphaJet 付属のパラメーターシートを参照します。

• Attention Notice:
Before printing: Please fill in following data after Control Center installation

AUTO SEND PAPER
1. Step one:
(1) Plot\setting\calibrate\scale in X: 0.99928 [Calibrate]入力項目
(2) Plot\setting\calibrate\scale in Y: 0.99126

2. Step two:
In case printing speed "9" selected, please fill in following data:

Plot \deviation adjust\NK1 Negative Deviation: <u>6</u>	Plot \deviation adjust\value of step: <u>3</u>
Plot \deviation adjust\ left1: <u>-3</u>	Plot \deviation adjust\ right1: <u>1</u>

[Deviations]入力項目

TAKE-UP DELIVERY PAPER
1. Step one:
(3) Plot\setting\calibrate\scale in X: 0.99928
(4) Plot\setting\calibrate\scale in Y: 0.99126

2. Step two:
In case printing speed "9" selected, please fill in following data:

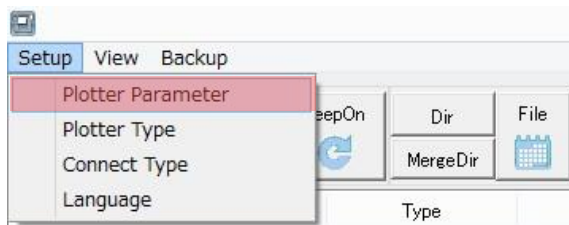
Plot \deviation adjust\NK1 Negative Deviation: <u>6</u>	Plot \deviation adjust\value of step: <u>3</u>
Plot \deviation adjust\ left1: <u>-3</u>	Plot \deviation adjust\ right1: <u>1</u>

1) Plotter Parameter 設定

1) デスクトップにある【Plot】をダブルクリックします。



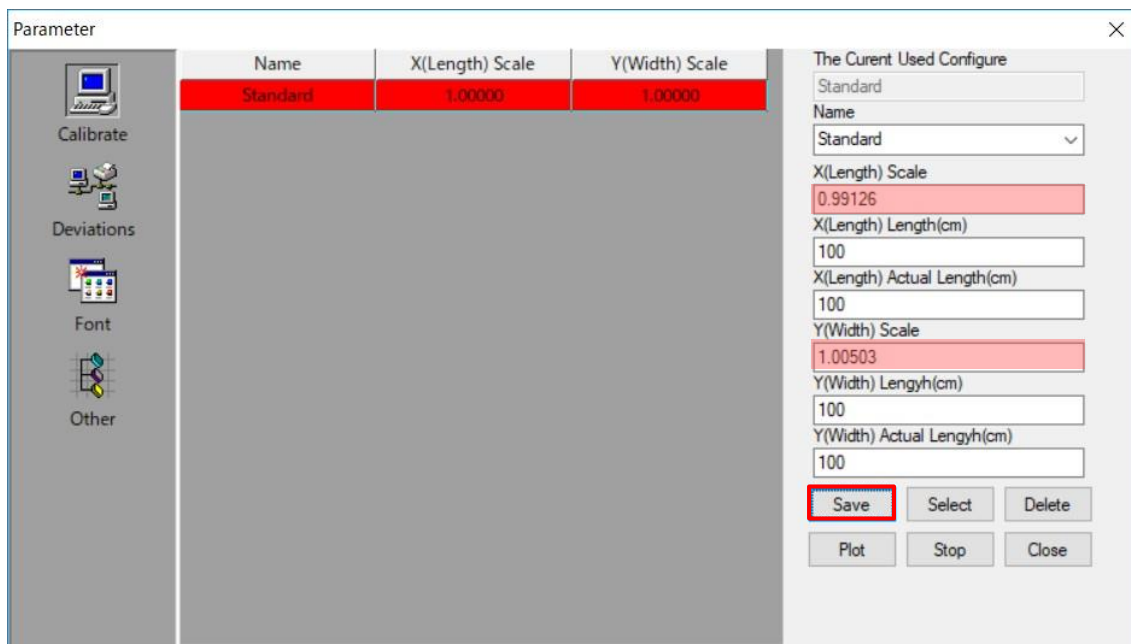
2) メニュー「Setup」-「Plotter Parameter」をクリックします。



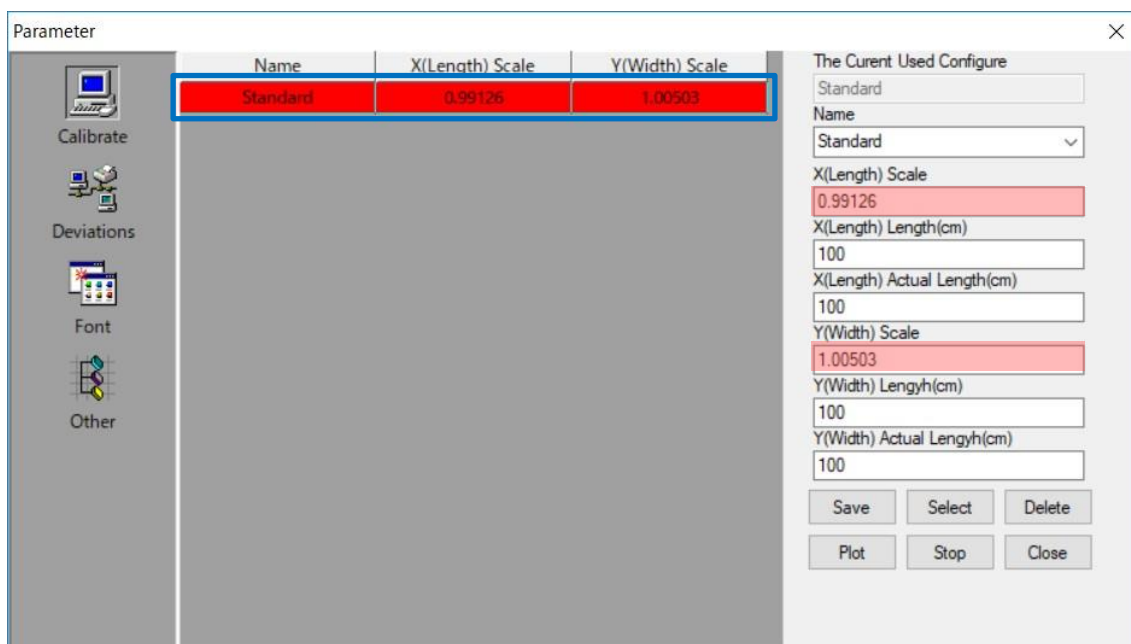
1-0.「Calibrate」を選択します。

※出力時のスケール(実寸)調整作業です

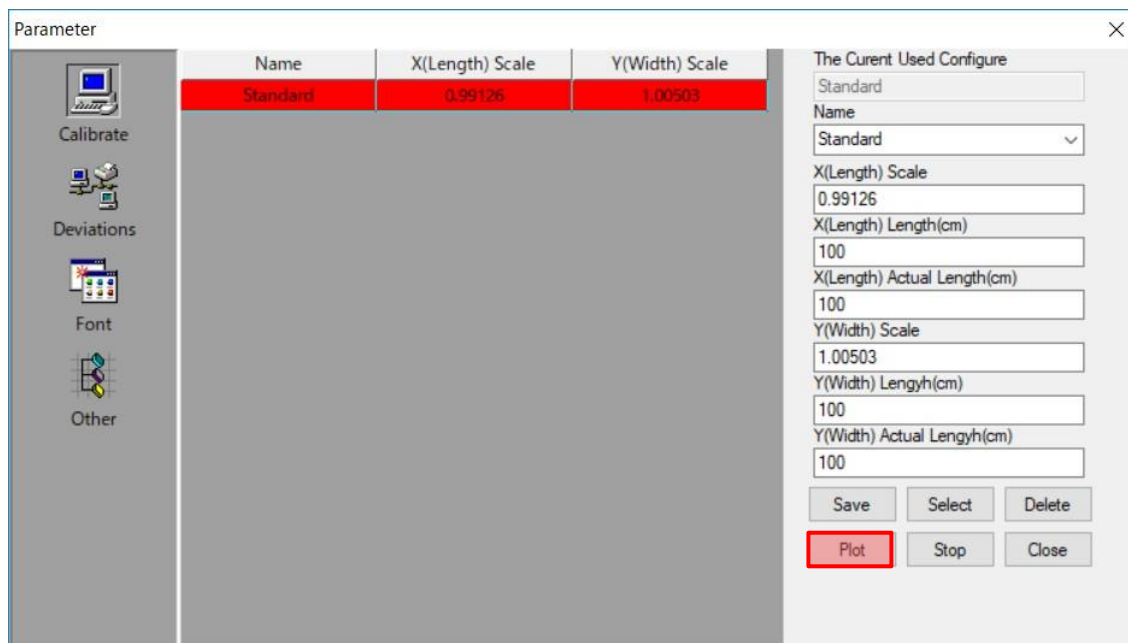
- 1-1. パラメーターシートに記載されているスケール値([Calibralte]入力項目)を入力後、「Save」をクリックします。



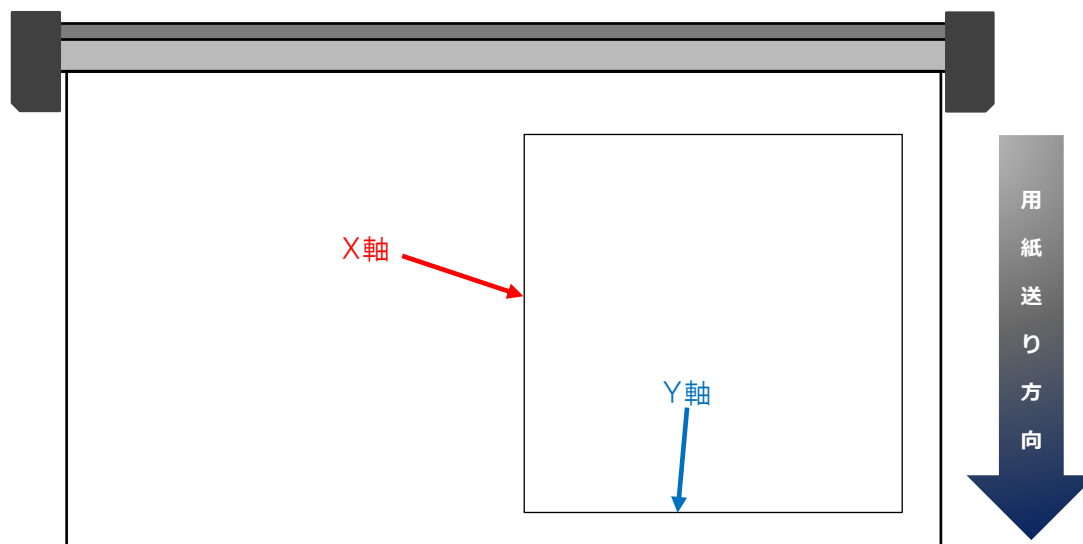
- 1-2. X, Y それぞれのスケール値が変更されます。



- 1-3. 次に納品時におけるスケールの微調整を行います。
プロッター出力できる状態にして、[Plot]ボタンをクリックすると
「1mの正方形」をプロット出力します。



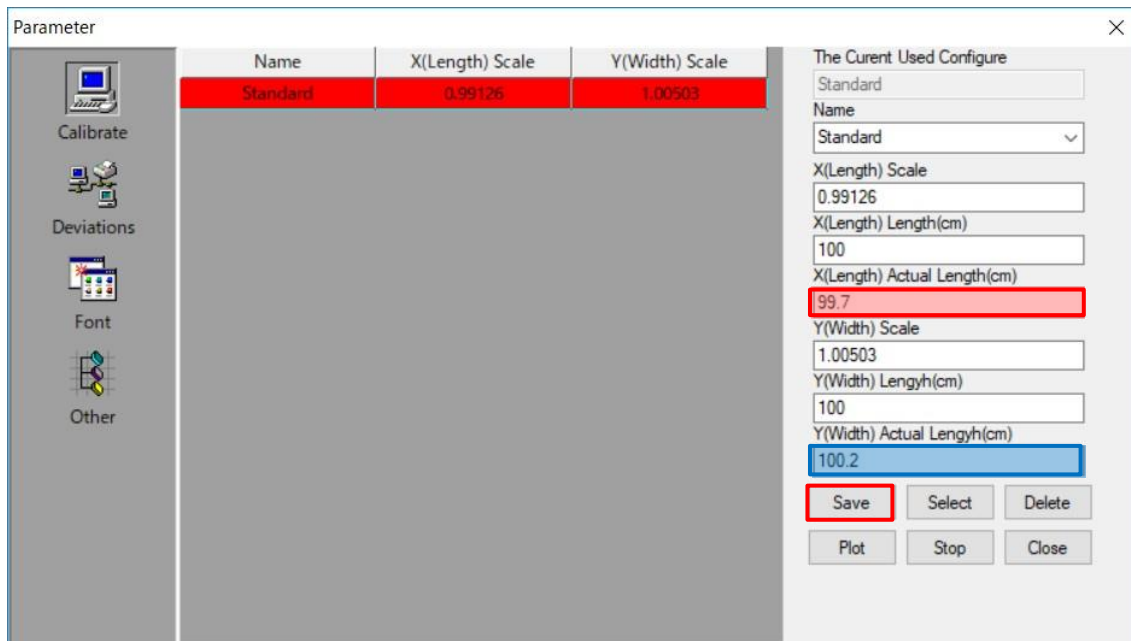
- 1-4. 出力された四角形の縦(X軸)、横(Y軸)を測ります。
なお測った値が1m(100.00cm)だった場合にはスケール補正する必要はありません。



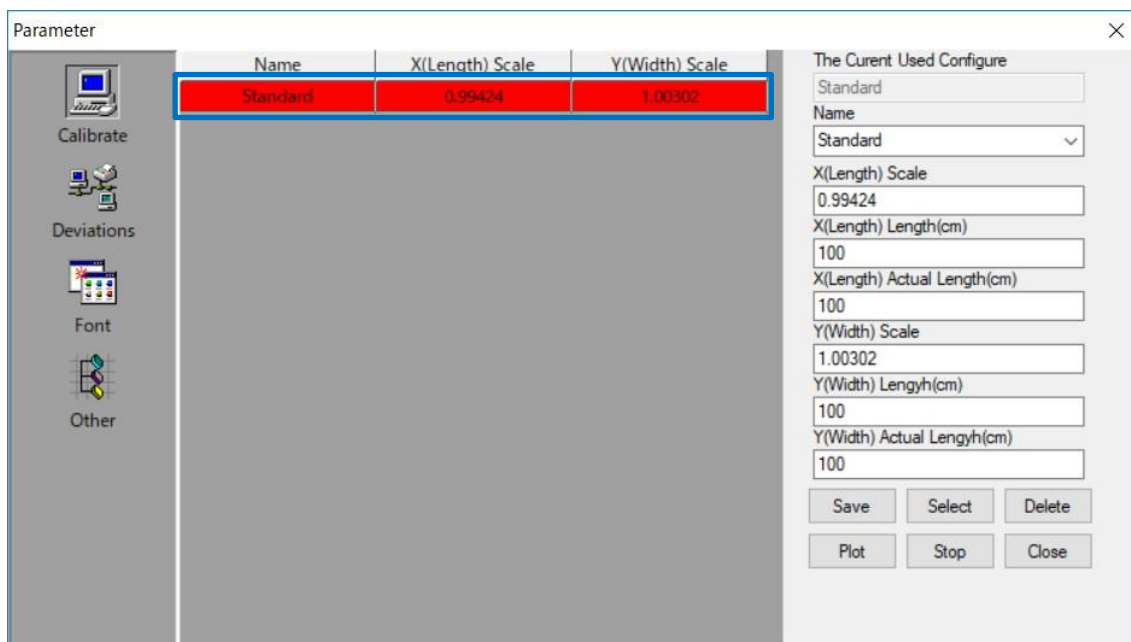
※数学の X-Y と逆なので注意

1-5. 測った実際の長さを「X, Y(Length) Actual Length(cm)」にそれぞれ入力して [Save]をクリックします。

例)下の場合は X が 99.7cm、Y が 100.2cm の場合



1-6. X, Y それぞれのスケール値が補正後の値に変更されます。

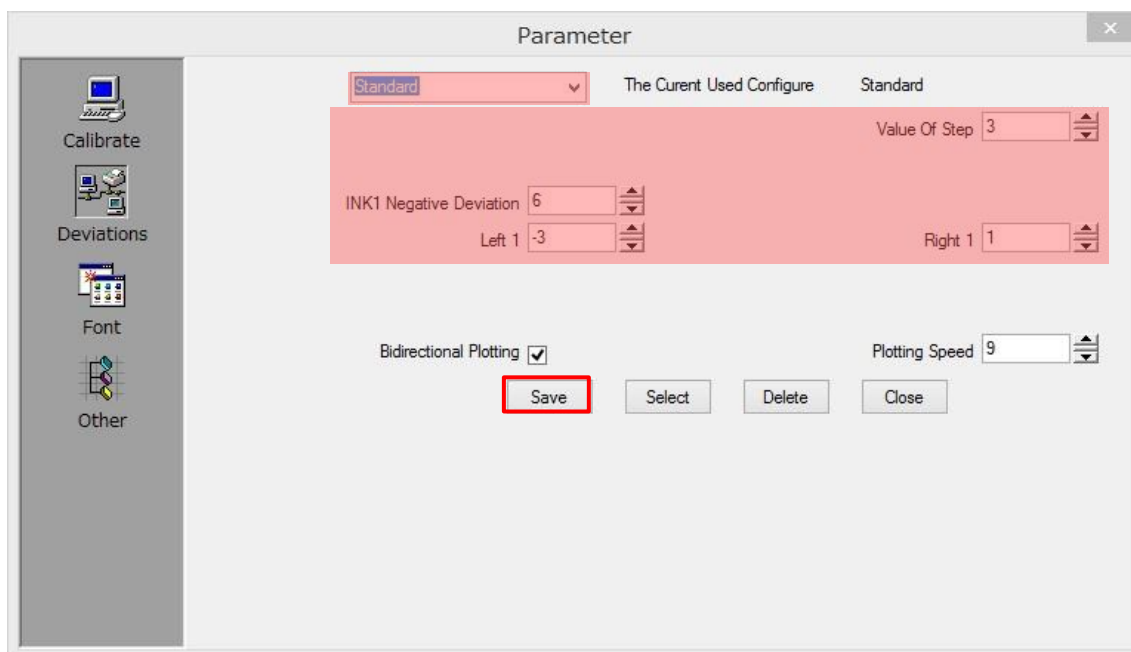


1-7. 再度 1-3.の「1m の正方形」をプロット出力して測り、スケールが正しくなるまで繰り返し調整します。

2-0. 「Deviations」を選択します。

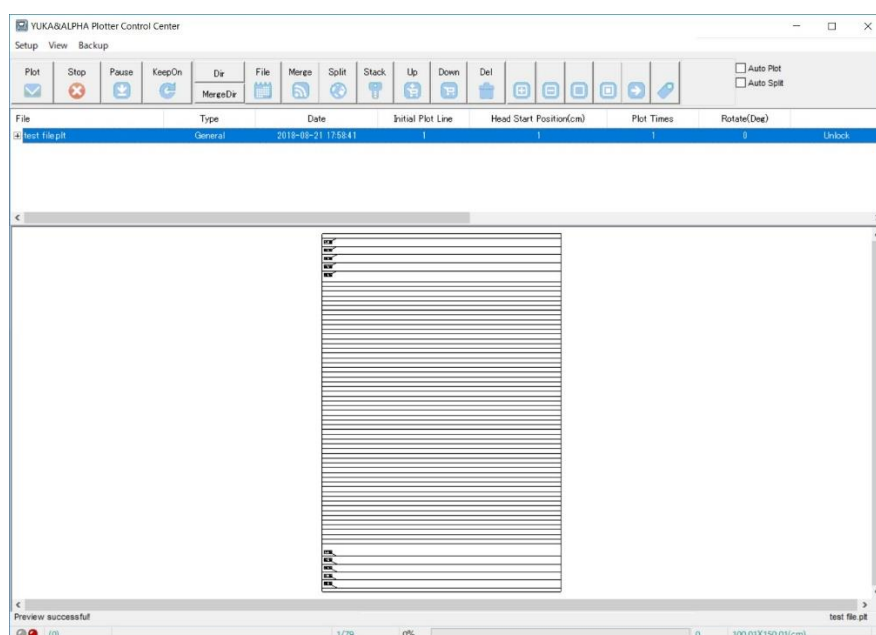
※出力時の往復による線ズレ補正作業です

- 2-1. パラメーターシートに記載されている偏差値([Deviations]入力項目)を入力後、「Save」をクリックします。



- 2-2. 次に納品時におけるスケールの微調整を行います。

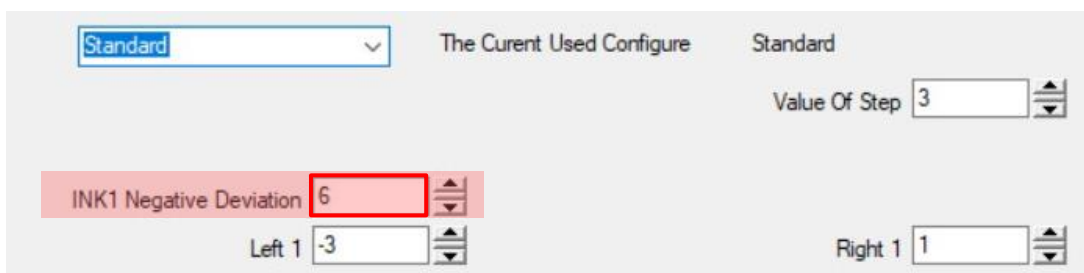
プロッター出力できる状態にして、Plotter Control Center よりインストーラーCD 内の
“Accuracy calibration and bi-directional adjustment¥test_file.plt”ファイルを出力します。



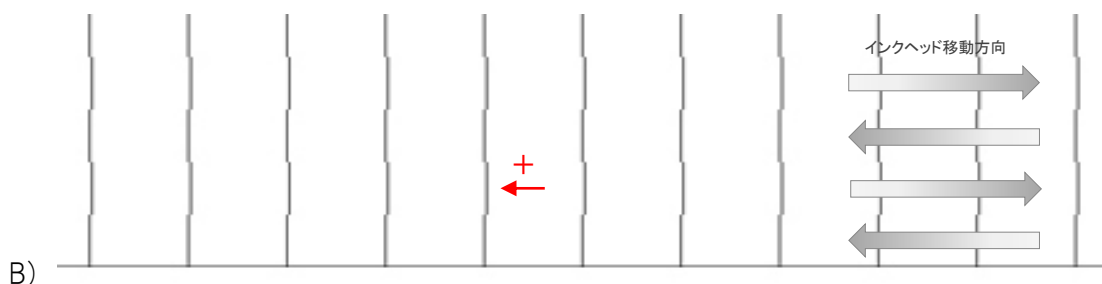
2-3. 下図のように出力されるので、主に「中央」、「左」、「右」の線ズレを確認して、補正していきます。



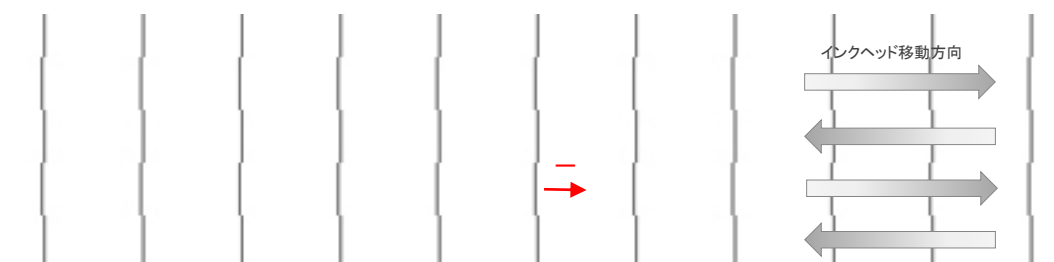
2-4. まず中央付近の線ズレがないかを確認します。
中央付近のズレの偏差値を調整するには「INK1 Negative Deviation」を変更します。
変更する値はズレている幅によって適宜調整してください。



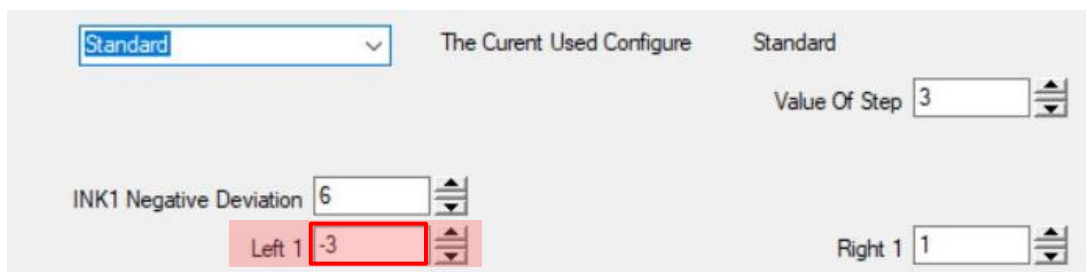
A) 下図のようにズレている場合、INK1 Negative Deviation の値を「+」します。



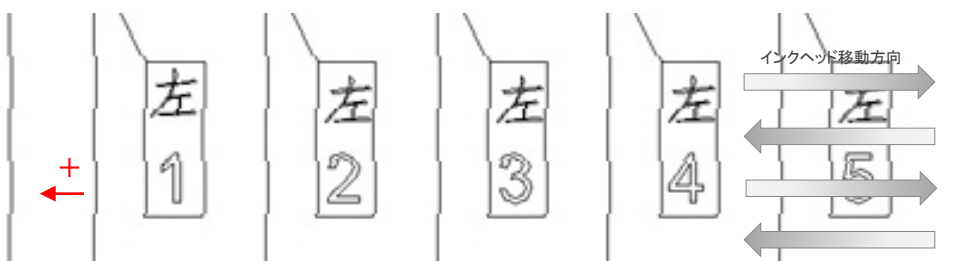
C) 下図のようにズレている場合、INK1 Negative Deviation の値を「-」します。



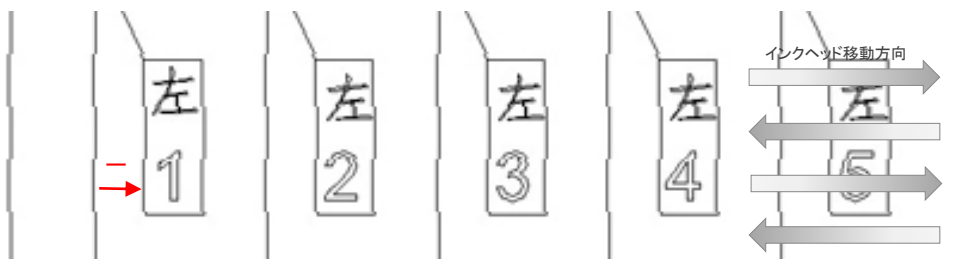
- 2-5. 次に左付近の線ズレがないかを確認します。
 左付近のズレの偏差値を調整するには「Left 1」を変更します。
 変更する値はズレている幅によって適宜調整してください。



- A) 下図のようにズレている場合、Left 1 の値を「+」します。

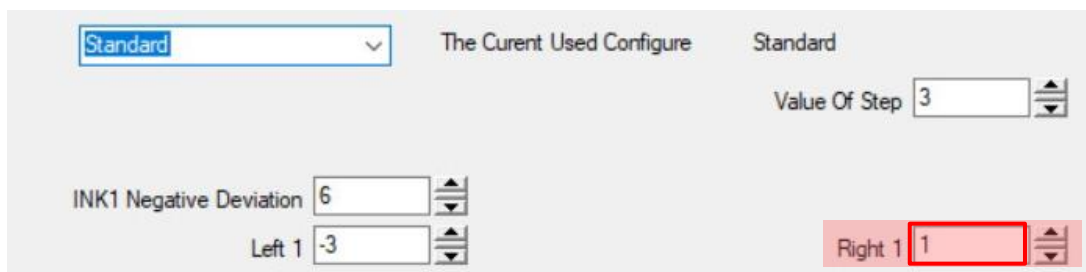


- B) 下図のようにズレている場合、Left 1 の値を「-」します。

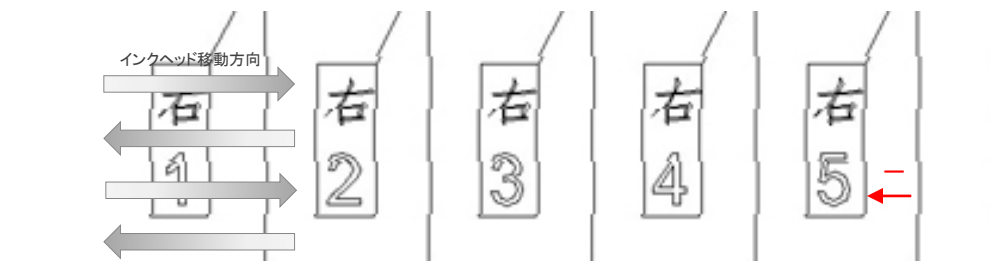


※ 線のズレに対して右調整時と＋が逆になります！

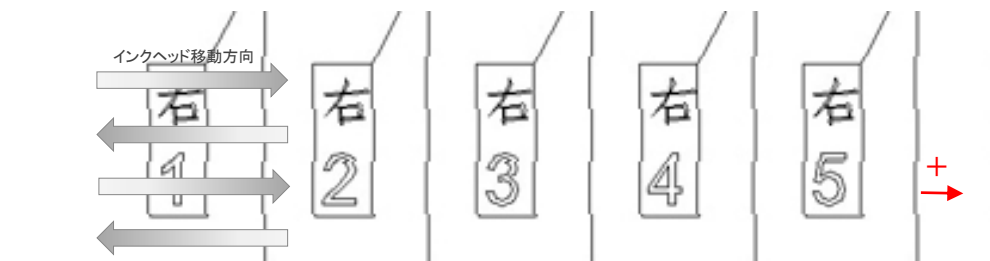
- 2-6. 次に右付近の線ズレがないかを確認します。
 右付近のズレの偏差値を調整するには「Right 1」を変更します。
 変更する値はズレている幅によって適宜調整してください。



- C) 下図のようにズレている場合、Right 1 の値を「-」します。



- D) 下図のようにズレている場合、Right 1 の値を「+」します。

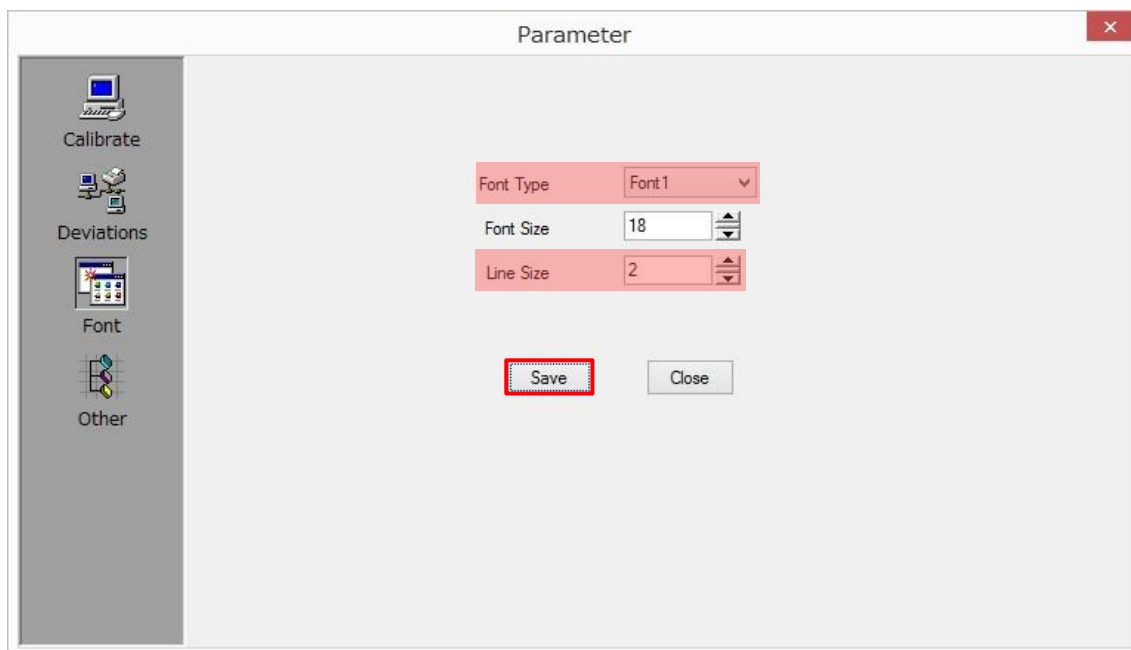


※ 線のズレに対して左調整時と+-が逆になります！

- 2-7. 2-2 の出力 ~ 2-6 の調整までを繰り返して、線のズレが無くなるよう調整します。

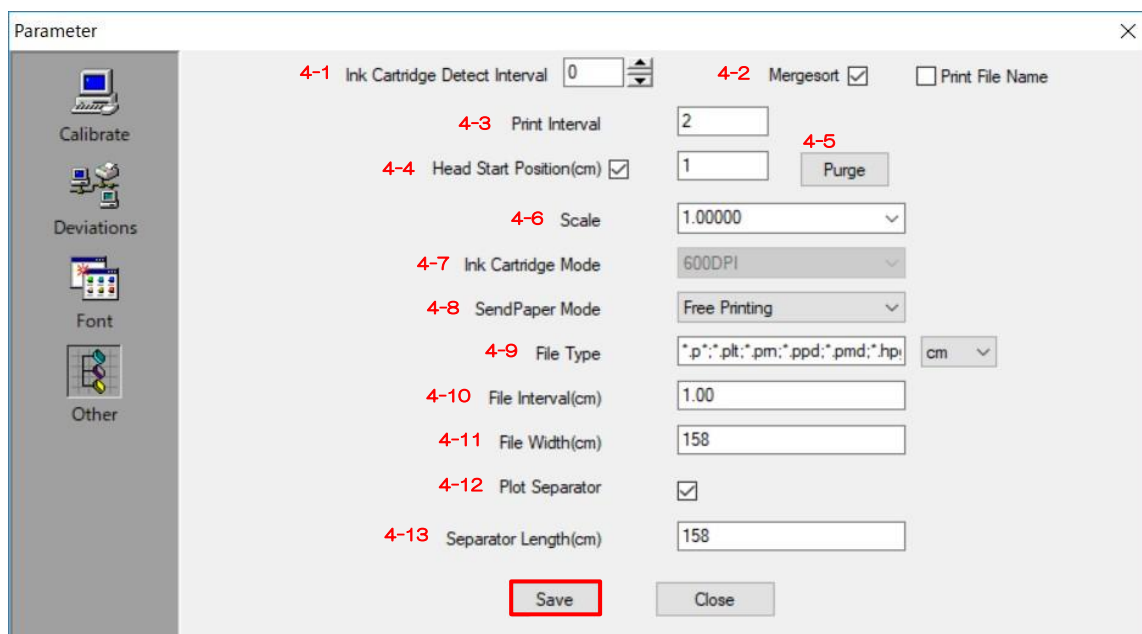
3-0.「Font」を選択します。

作図線の太さを変更したい場合は、“Line Size”を変更し「Save」をクリックします。



4-0.「Other」を選択します。

※4-1 以降を環境やご利用方法によって設定します。



4-1. “InkCartridge Detect Interval” - 「0」から変更しないでください。

4-2. “Margesort” - ON、OFF により、[Marge]にてファイルを読み込む動作が変わります。

※✓ON:同時に複数ファイルを選択追加できます。

✓OFF:一つずつ追加することで並び順を意図的に決めることができます。

4-3. “Print Interval” - AutoPlot 時、各マーカファイルの余白間隔を設定します。

4-4. “Head Start Position(cm)” - ✓ONにして、ロール紙右端から何 cm の箇所を出力開始位置とするか設定します。

※ロール紙のセット位置により異なります。

4-5. [Purge] -クリックすると、複数の■を一往復だけ出力します。

4-6. “Scale” - 出力時のスケールを設定します。

※基本的に変更しないでください。”1.00000”で実寸大表示となります。

4-7. “Ink Cartridge Mode” - “600dpi”になります。

※基本的には変更できません。

4-8. “SendPaper Mode” - 「Free Printing」に変更してください。

4-9. “File Type” - 読み込めるオフラインファイルの種類を設定します。

※ユカ用オフラインファイルを読み込ませるため、最初に「*.p*」を加えます。

4-10. “File Interval(cm)” - [Merge]や[Split]の出力時に並ぶ各マーカージ間隔を設定します。

4-11. “File Width(cm)” - 使用している用紙の紙幅を設定します。

余白として紙幅 -2cm 程度考慮します。

※1600mm 幅用紙の場合は、“158”等

4-12. “Plot Separator” - AutoPlot 時、各マーカージ間隔に一重線を印字するかしないかの設定をします。

各マーカージ間隔は 4-3. “Print Interval”の値になります。

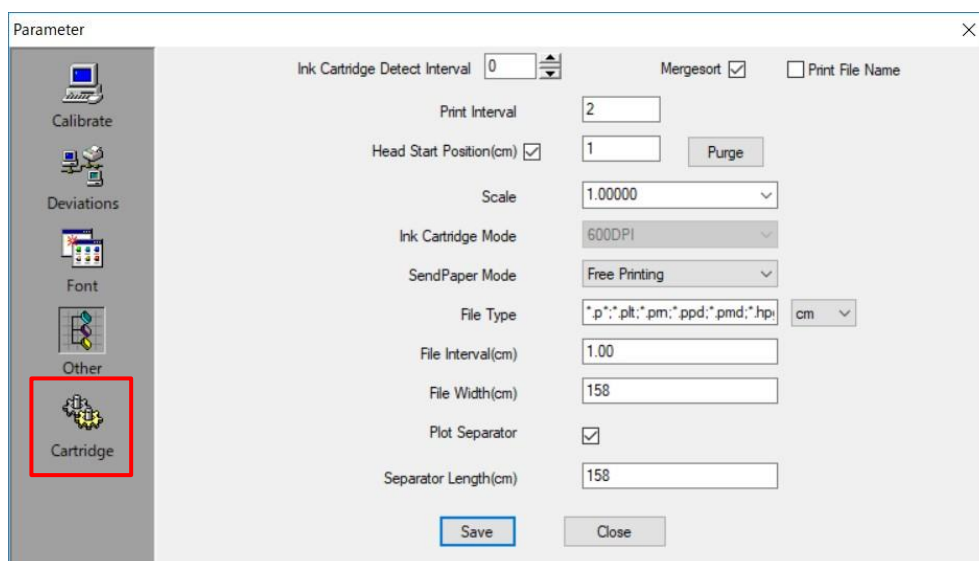
※✓ON: 印字されます。

✓OFF: 印字されません。

4-13. “Separator Length(cm)” - 4-12.で✓ON 時の線の長さを設定できます。

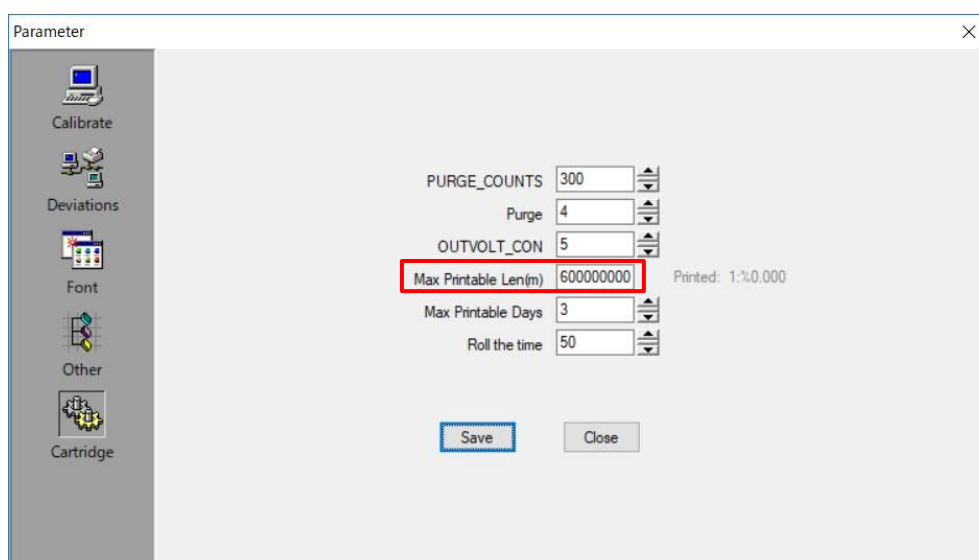
上記値入力後、「Save」をクリックし、「Close」にて閉じます。

5-0. キーボードの [Shift] + [F11] キーを押すと「Cartridge」が表示されるのでクリックします。

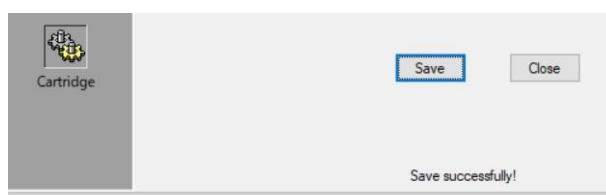


5-1. "Max Printable Len(m)" - "600000000"に変更します。

※この設定をしないと正常に出力できません

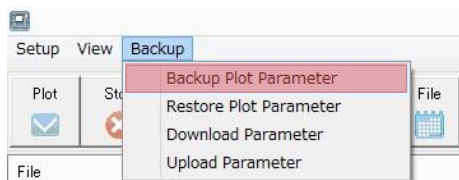


5-2. [Save] をクリックすると Save successfully! と表示されて設定完了します。

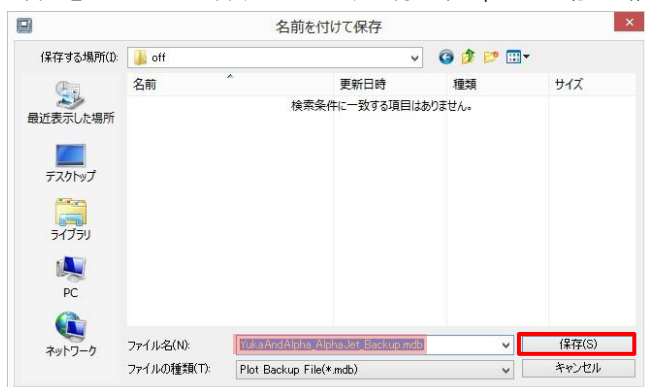


2) AlphaJet 設定情報のバックアップ

1) メニュー「Backup」-「Backup Plot Parameter」をクリックします。

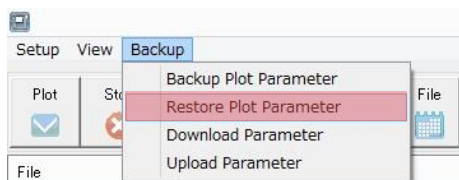


2) 任意のファイル名 (*.mdb) を付け、AlphaJet 設定情報を保存することができます。

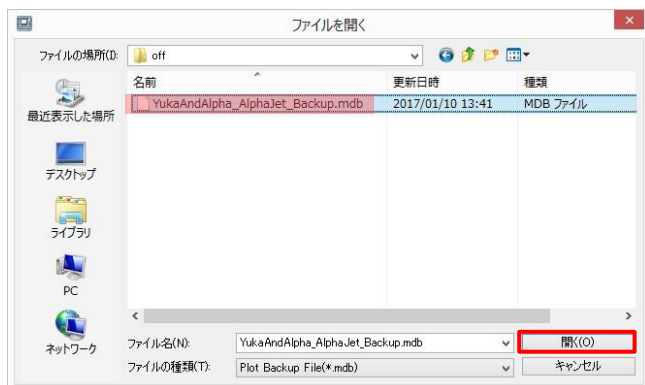


3) AlphaJet 設定情報のリストア

1) メニュー「Backup」-「Restore Plot Parameter」をクリックします。



2) 復元したいバックアップファイルを選択し「開く」をクリックします。



3) 「OK」をクリックすると、【YUKA&ALPHA Plotter Control Center】が終了します。

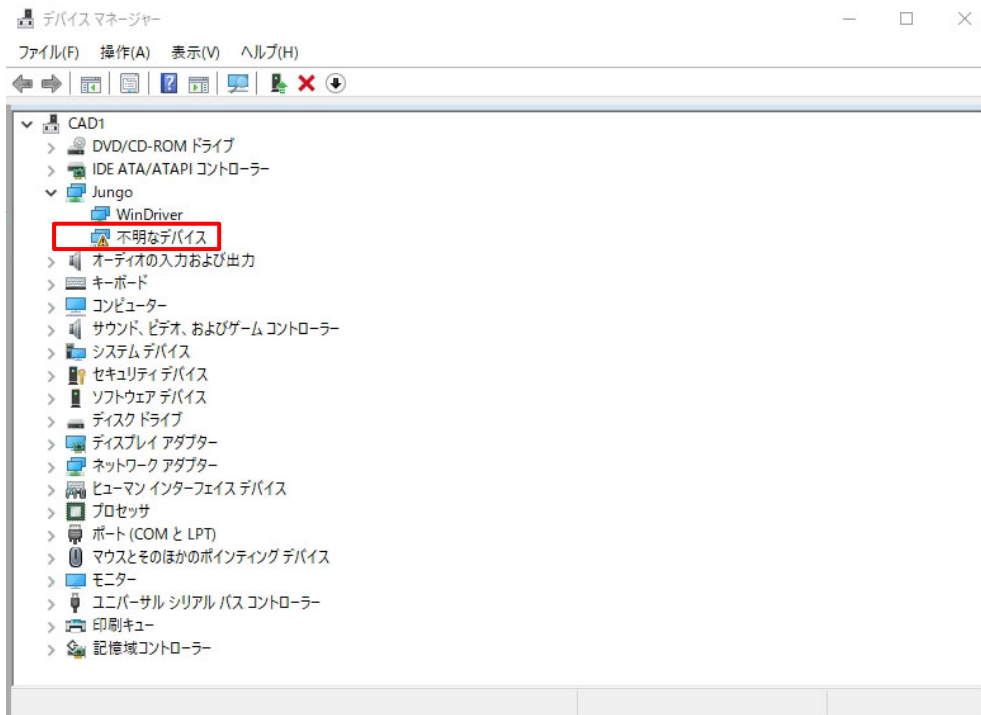
(9) ドライバーの再インストール

Windows10 バージョンアップ以降、AlphaJet のデバイスドライバーを削除されてしまうことがあります。その際には AlphaJet ドライバーを再インストールする必要があります。

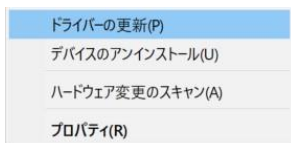
下記手順に沿って実施して下さい。

※Windows8 以降、「デジタル署名」されていないデバイスドライバーのインストールが、通常ではできないようになっているため、P.19 (4)Windows10, 8.1 でのドライバーインストールについて を実施してから以下のインストール作業を実施して下さい。

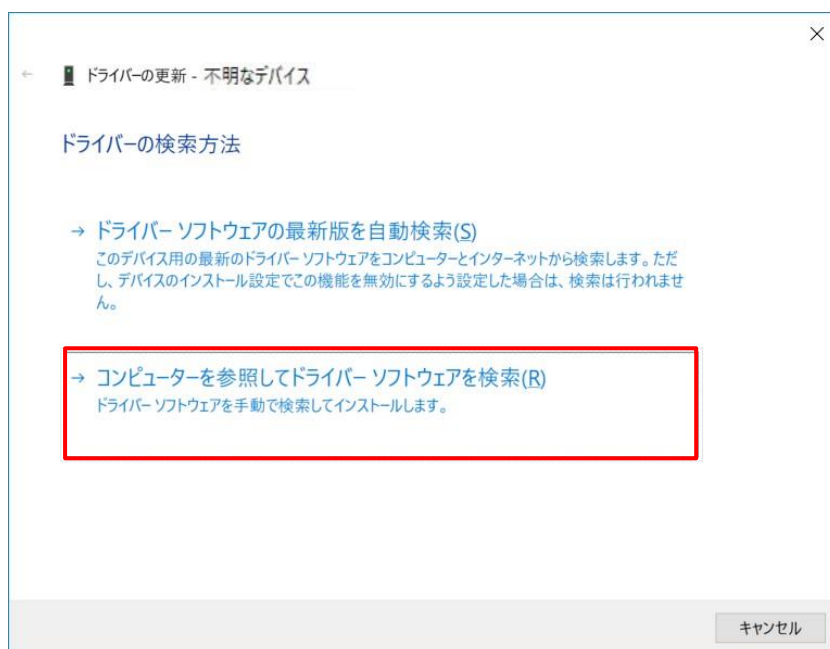
- 1) AlphaJet の電源を入れます。
- 2) デバイスマネージャーを開き、「Jungo」-「不明なデバイス」(もしくは「SinaJet」)が正常に動作していない状態になっていると思います。



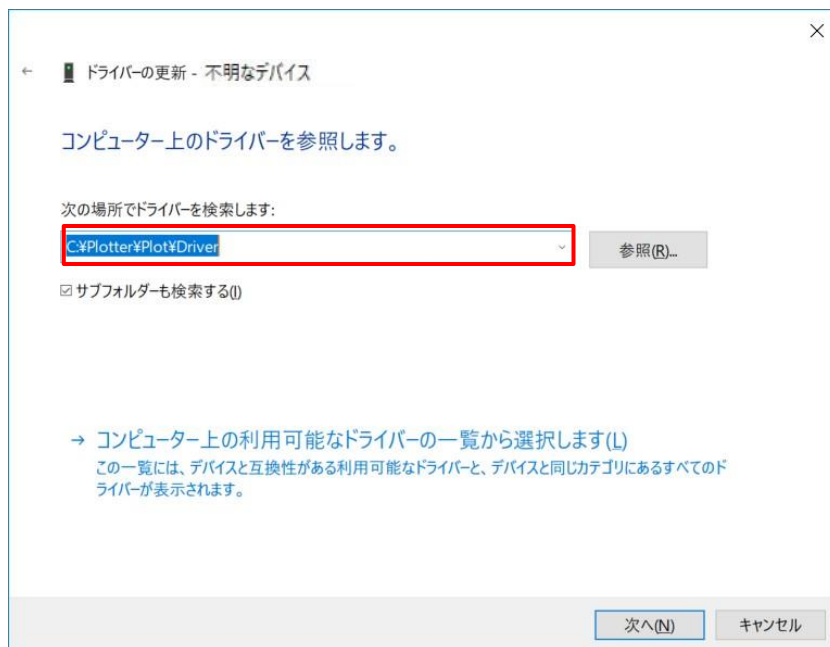
- 3) 「不明なデバイス」(もしくは「AlphaJet」)で右クリックメニューを表示し、「ドライバーの更新」をクリックします。



- 4) ドライバーの検索方法で「→ コンピューターを参照してドライバーソフトウェアを検索」をクリックします。



- 5) 次の場所でドライバーを検索しますで「C:\Plotter\Plot\Driver」を入力(参照)します。



- 6) [次へ]をクリックしていきその後も指示通りに進めていくことで正常に AlphaJet のデバイスドライバーが再インストールされます。

(10) 用紙幅の異なるロール紙使用に際して

ご使用ロール紙を別サイズ(紙幅)に変更される際は、以下の変更をお願い致します。

例) 現在 185cm ロール紙を使用し、今後 165cm ロール紙も使用

SuperALPHA:Plus マーキングの用紙設定を変更して下さい。

用紙横の値を“180”から“160”に変更して下さい。

※180cmのロール紙を再度ご使用の際は、値を180に戻して下さい。

HP700

全長	329.23	生地巾	146	
<input type="button" value="A0"/>	<input type="button" value="A1"/>	<input type="button" value="A3"/>	<input type="button" value="ロール"/>	<input type="button" value="その他"/>
用紙	横	<input type="text" value="160"/>	縦	<input type="text" value="1000"/>
スケール	<input type="text" value="1"/>	<input type="button" value="設定完了"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>
	<input type="button" value="最後"/>			

①用紙横を160に変更
②「設定完了」をクリック

1) ロール紙の付け替え

1) 左側 PaperHolder を六角レンチで緩め、取り外します。(図 1)

図 1



2) 右側 PaperHolder を六角レンチで緩め、現(180cm ロール紙使用時の)固定位置から 10cm ずらして固定します。(図 2, 図 3)

※10cm ずらす考え方: 180cm ロール紙 - 160cm ロール紙 = 差 20cm

差 20cm ÷ 2(左右) = 左右各 10cm となります。

※右側 PaperHolder 固定位置をロールシャフトにマジックでマークしておくことで、用紙幅の異なるロール紙に付け替える際に役立ちます。(図 4)

図 2



図 3



図 4



3) 160cm 巾のロール紙をロール紙シャフトに通します。

4) 左側 PaperHolder をセットし、六角レンチで固定します。

5) AlphaJet ヘロール紙をセットします。

2) Plot ソフトの設定変更

1) Plot ソフトを起動します。

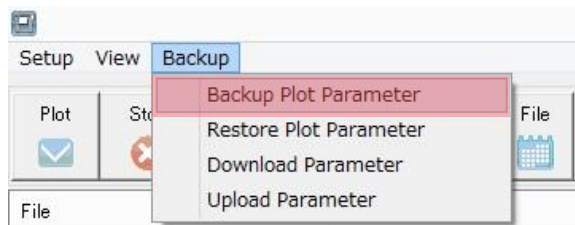


2) 現在の 180cm ロール紙用 Plot ソフト設定ファイルをバックアップします。

メニュー「BackUp」→「BackUpPlotParameter」をクリックし、設定ファイルをバックアップします。

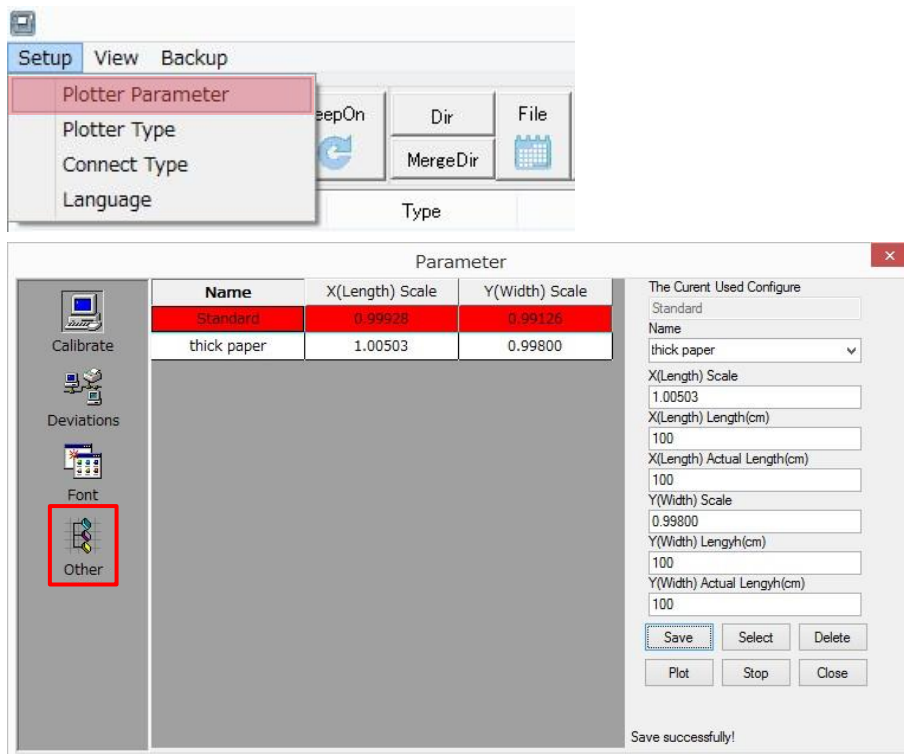
※バックアップファイルの保存先はどこでも結構です。

※バックアップファイル名は、1800.mdb として下さい。



3)これから使用する 160cm ロール紙用の Plot ソフト設定を行います。

メニュー「Setup」-「Plotter Parameter」をクリックし、左下にある『Other』をクリックします。

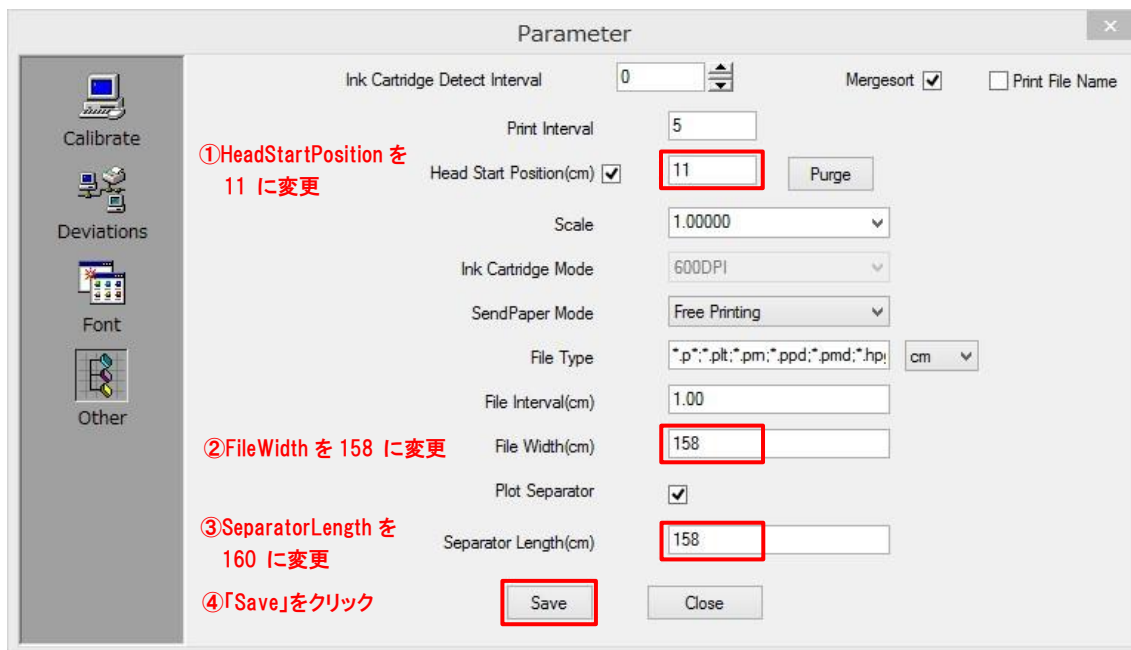


4) 下図の通り値を変更し、『Save』します。

「Head Start Position」 11 に変更

「File Width」 160 に変更

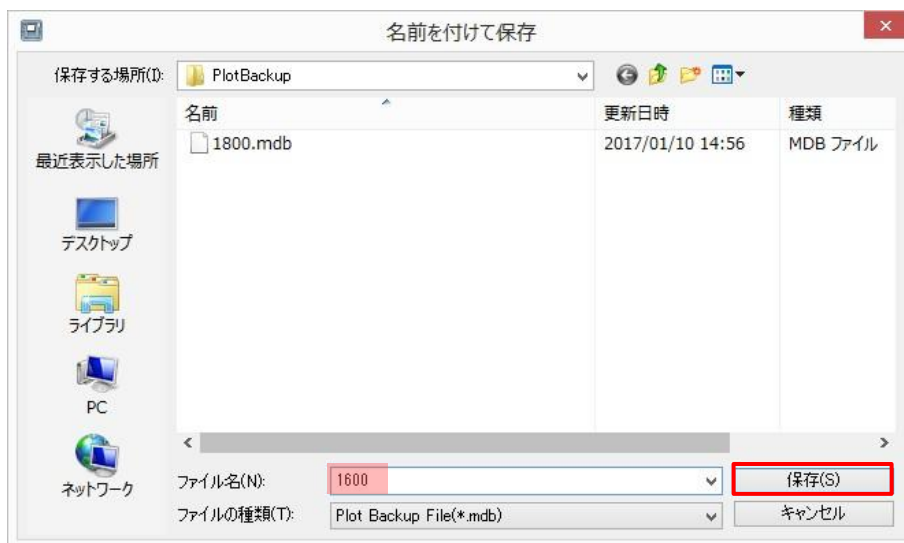
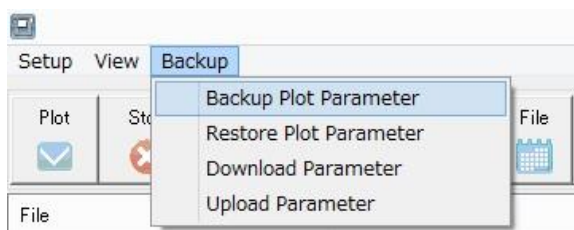
「Separator Length」 160 に変更



※上図にて、HeadStartPosition 値を 11 にしているのは、180cm ロール紙では HeadStartPosition を 1 としており、1-2. で右側 PaperHolder 固定位置を左に 10cm ずらしているため、1+10 で 11 と算出しています。

※テスト出力後、インク描き出し位置を微調整する場合は、“Head Start Position” 値を変更して「Save」後、再度ご確認ください。

5) インク描き出し位置が決まりましたら、160cm ロール紙用 Plot ソフト設定ファイルをバックアップします。メニュー「BackUp」→「BackUpPlotParameter」をクリックし、バックアップファイル名を **1600.mdb** として下さい。



3) ご使用ロール紙を付け替える際の利用手順

1) PaperHolder の固定位置を変更し、ご使用になるロール紙をセットします。

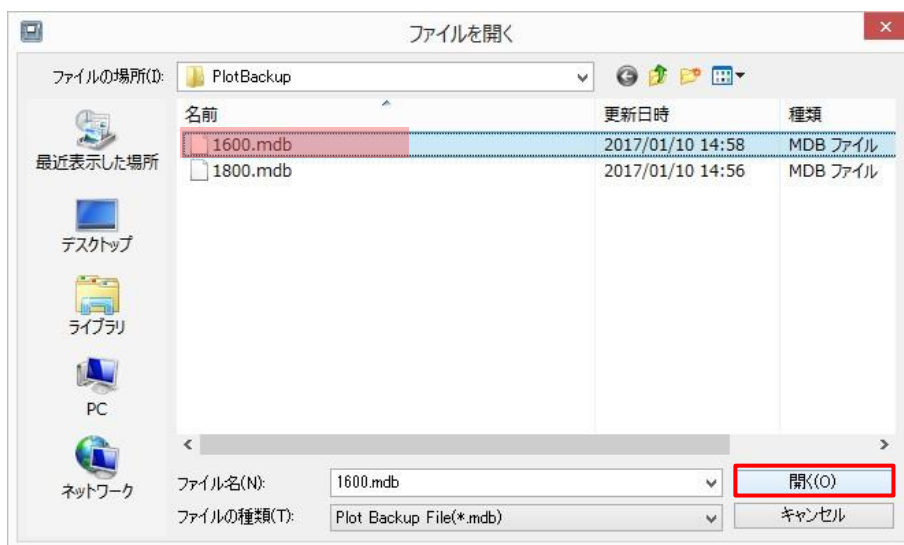
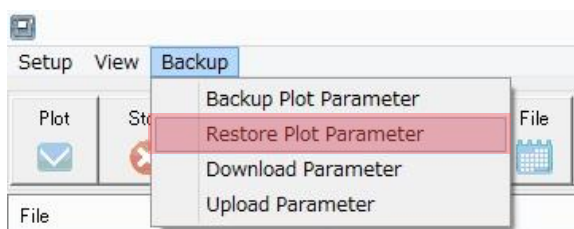
2) セットしたロール用紙幅に応じて、Plot ソフトの設定バックアップファイルを読み込みます。

メニュー「BackUp」-「RestorePlotParameter」をクリックし、紙幅に応じたバックアップファイルを読み込みます。

※160cm ロールをセットした場合は 1600.mdb を読み込む。

※180cm ロールをセットした場合は 1800.mdb を読み込む。

Plot ソフトが自動的に終了します。



3) Plot ソフトを起動し、プロッター出力をご確認下さい。

以上